

水泳授業の民間委託状況と
今後のプール整備に関する
報告書



広川町教育委員会

目 次

【民間スイミングスクールを活用した水泳授業アンケート調査報告書（小学校）】

1 調査の目的	P 1
2 概要	P 1 ～ 2
3 アンケート調査の実施方法	P 2
4 児童アンケート調査の結果	P 3 ～ 5
5 保護者アンケート調査の結果	P 6 ～ 7
6 教職員アンケート調査の結果	P 8 ～ 11
7 アンケートの自由意見	P 12 ～ 15
8 総括	P 15 ～ 16
学習指導要領（水泳指導抜粋）	P 17 ～ 18
小学校設置基準抜粋	P 19

【民間スイミングスクールを活用した水泳授業アンケート調査報告書（中学校）】

1 調査の目的	P 20
2 概要	P 20 ～ 21
3 アンケート調査の実施方法	P 21
4 生徒アンケート調査の結果	P 22 ～ 24
5 保護者アンケート調査の結果	P 25 ～ 26
6 教職員アンケート調査の結果	P 27 ～ 30
7 アンケートの自由意見	P 31 ～ 35
8 総括	P 35 ～ 36
学習指導要領（水泳指導抜粋）	P 37 ～ 38
中学校設置基準抜粋	P 39

【民間委託における泳力の状況】

1 25メートルを泳ぐことができる児童生徒の状況	P 40 ～ 41
2 イトマンスポーツクラブにおける、泳力判定について	P 42
3 泳力の向上について	P 43 ～ 44

【広川町小中学校プールに関するコスト比較資料】

1 広川町小中学校プールの現状	P 45
2 トータルコスト（50年間）の比較検討パターン	P 45 ～ 51
3 各パターンのコスト比較	P 52

【総括】 広川町小中学校における今後の水泳授業のあり方について

P 53 ～ 54

【資料】 定例教育委員会における「水泳授業民間委託」に関する協議の経過

P 55 ～ 56

【民間スイミングスクールを活用した水泳授業アンケート調査報告書（小学校）】

1 調査の目的

広川町教育委員会では、令和6年度において、民間スイミングスクールを活用した水泳授業を上広川小学校、下広川小学校の2校で実施したので、その効果検証を行うため、アンケート調査を行うもの。

2 概要

○事業の目的

体育科における水遊び及び水泳運動の指導を民間スイミングスクールに業務委託することにより、指導業務及び移動手段、水泳施設を確保し、以下に記す効果を得ることで、効果的で円滑な水泳指導に資すること。

○期待される効果

- ・天候に左右されない計画的な水泳授業の実施
- ・専門性の高いインストラクターの指導による児童の泳力の向上
- ・児童の安全の確保
- ・プール施設の維持管理に係る教員の負担軽減
- ・建設費、改修工事費、維持管理費等と業務委託費を比較し、財政的負担の軽減

○実施校・期間・場所など

上広川小学校 令和6年6月6日から令和6年 7月18日まで
下広川小学校 令和6年9月5日から令和6年10月24日まで
〒834-0006 福岡県八女市吉田6 イトマンスポーツスクール八女校

○水泳指導時数

2単位時間続けて、6コマ分の水泳の時数を確保した上で、体育科における水遊び及び水泳運動の指導については、原則、1学級（複数学年単位で実施）につき6回（1回45分程度）の指導回数を確保する。

○2単位時間1コマの考え方

（移動時間・着替え等準備）＋授業時間＋（着替え等片付・移動時間）
移動についてはイトマンスポーツスクールの送迎バスを必要台数確保し、バスの運行については、受託者が安全管理及び点検をした上で、実施校から水泳施設の敷地内までとする

- 授業時間 ① 9:00～ 9:50
② 10:00～10:50
③ 11:00～11:50

○児童数・複数学年単位

上広川小学校 合計 170 名

1 年生 27 名と 2 年生 18 名、計 45 名で合同実施

3 年生 32 名と 4 年生 27 名、計 59 名で合同実施

5 年生 37 名と 6 年生 29 名、計 66 名で合同実施

下広川小学校 合計 254 名

1 年生 43 名で実施

2 年生 41 名で実施

3 年生 39 名と 4 年生 46 名、計 85 名で合同実施

5 年生 41 名と 6 年生 44 名、計 85 名で合同実施

○指導内容

小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説体育編の内容を基本とし、実施校の年間指導計画の学習内容を基に、実施校とスイミングスクールで打ち合わせの上、実施する

○指導方法等

- ・泳力別に 4～5 グループ程度に分け、泳力別の指導を基本とする。スイミングスクールは、各グループには 1 人以上のインストラクターを配置し、水泳指導にあたる。
- ・安全面については、教員とインストラクターがプールサイド、プール内の監視を行う。

3 アンケート調査の実施方法

- (1) 実施期間：上広川小学校 令和 6 年 9 月 13 日（金）まで
下広川小学校 令和 6 年 10 月 11 日（金）まで

(2) ① 児童アンケート調査

所定の授業回数を終了後、速やかに学級毎に ICT 端末タブレットを利用した Web アンケートを実施。ただし、低学年の児童については、紙媒体による調査も可とする。

② 保護者アンケート調査

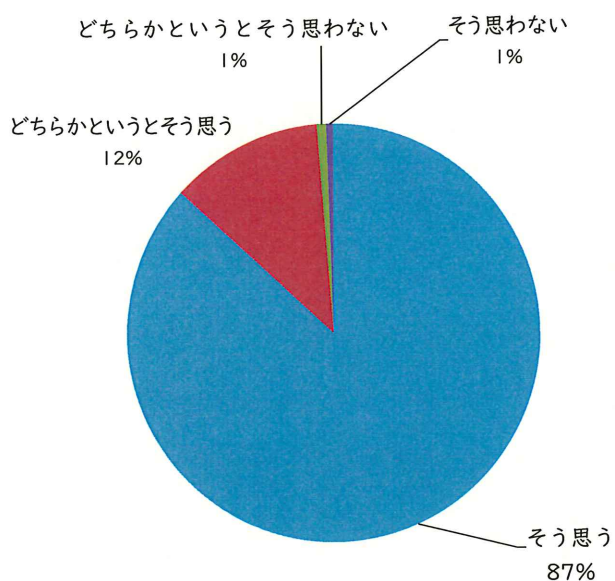
学校単位で運用しているアプリ「スクリレ」を利用した Web アンケート

③ 教員アンケート調査

ICT 端末を利用した Web アンケート

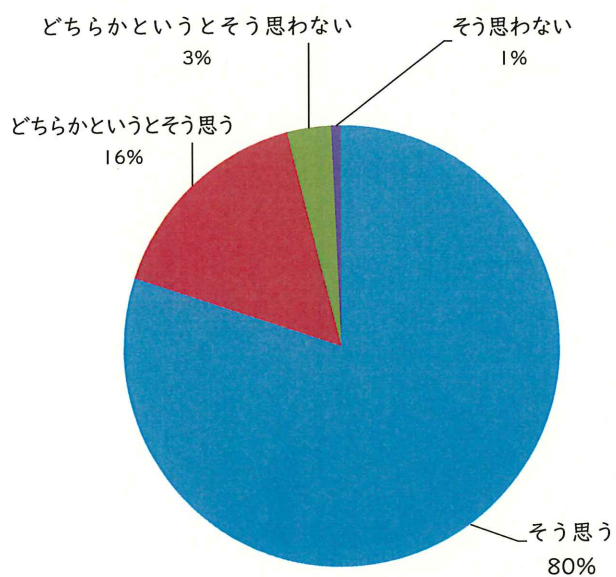
4 児童アンケート調査の結果

① 授業は楽しかったですか？



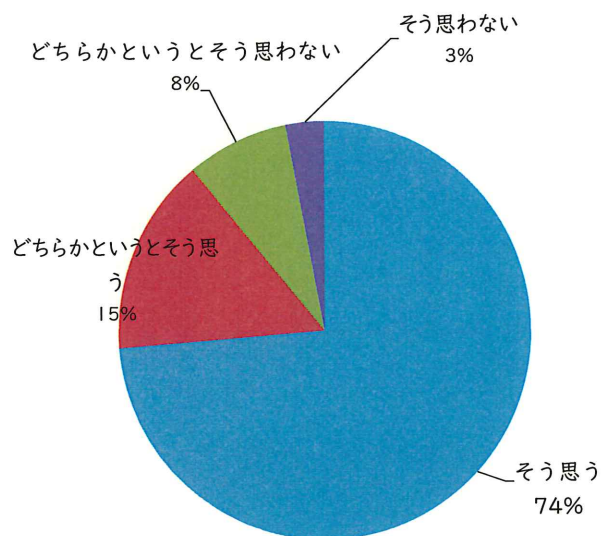
回答	回答数	%
そう思う	347	86.75%
どちらかというと思う	48	12.00%
どちらかというと思わない	3	0.75%
そう思わない	2	0.50%
合 計	400	100.00%

② 授業に進んで（積極的に）取り組みましたか？



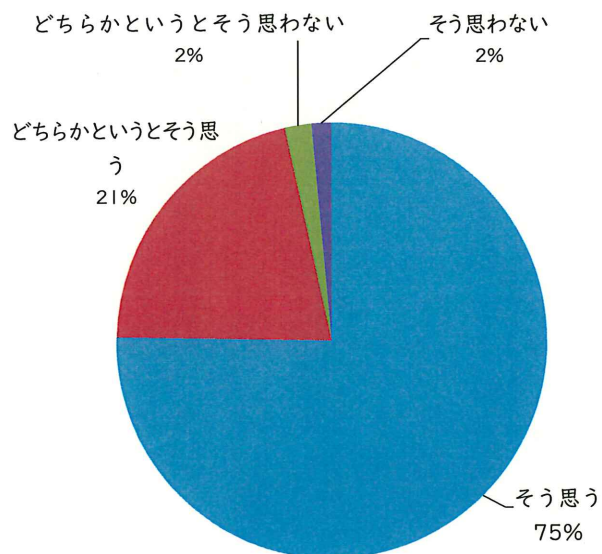
回答	回答数	%
そう思う	321	80.05%
どちらかというと思う	64	15.96%
どちらかというと思わない	13	3.24%
そう思わない	3	0.75%
合 計	401	100.00%

③ 授業の時間が十分あり、たくさん泳ぐことができましたか？



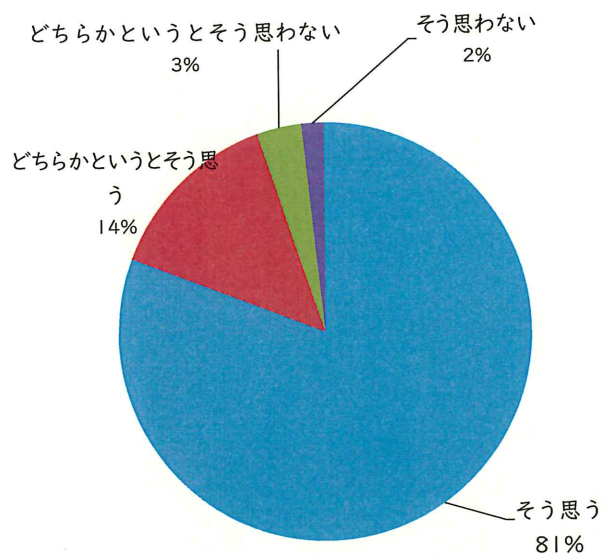
回答	回答数	%
そう思う	294	73.68%
どちらかというと思う	61	15.29%
どちらかというと思わない	32	8.02%
そう思わない	12	3.01%
合 計	399	100.00%

④ 先生やインストラクターに声をかけてもらったり、自分で練習したりして、水泳は上手になりましたか？



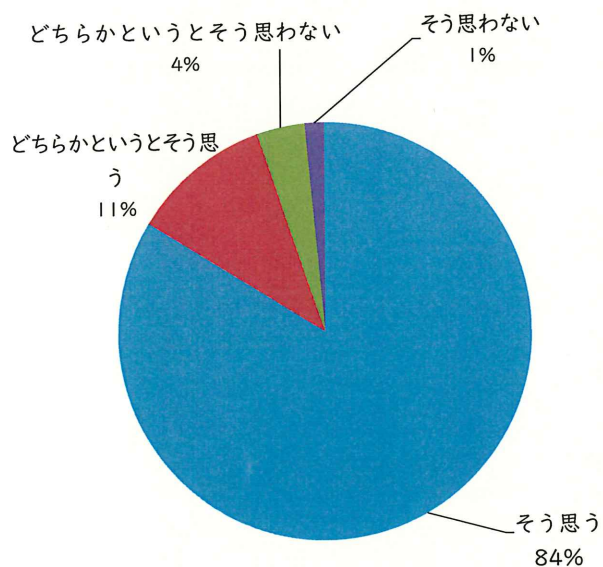
回答	回答数	%
そう思う	302	75.31%
どちらかというと思う	85	21.20%
どちらかというと思わない	8	2.00%
そう思わない	6	1.50%
合 計	401	100.00%

⑤ 水遊びや水泳は好きになりましたか？



回答	回答数	%
そう思う	323	80.75%
どちらかというと思う	56	14.00%
どちらかというと思わない	14	3.50%
そう思わない	7	1.75%
合 計	400	100.00%

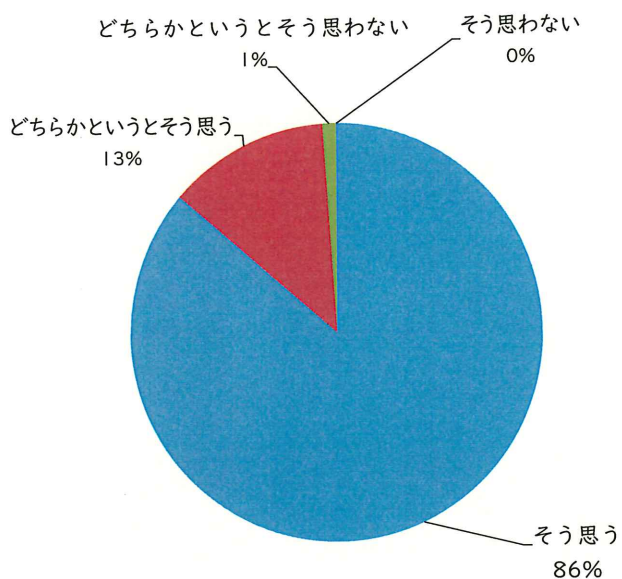
⑥ これからも、スイミングスクールで授業を受けたいですか？



回答	回答数	%
そう思う	335	83.75%
どちらかというと思う	44	11.00%
どちらかというと思わない	15	3.75%
そう思わない	6	1.50%
合 計	400	100.00%

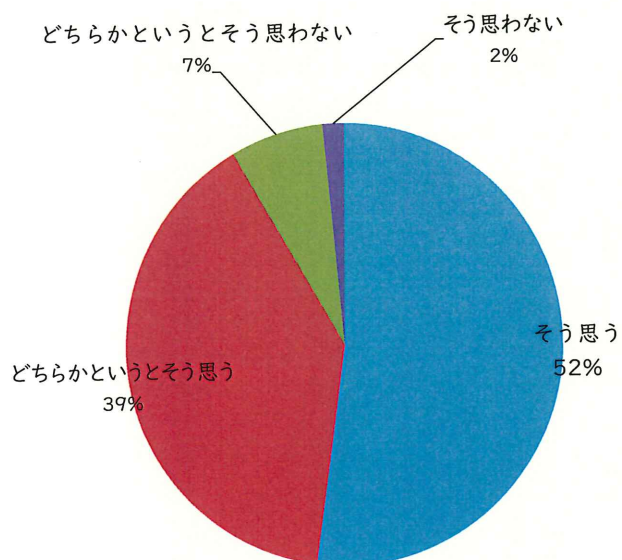
5 保護者アンケート調査の結果

① お子さんにとって水泳を学ぶ良い授業だったと思いますか？



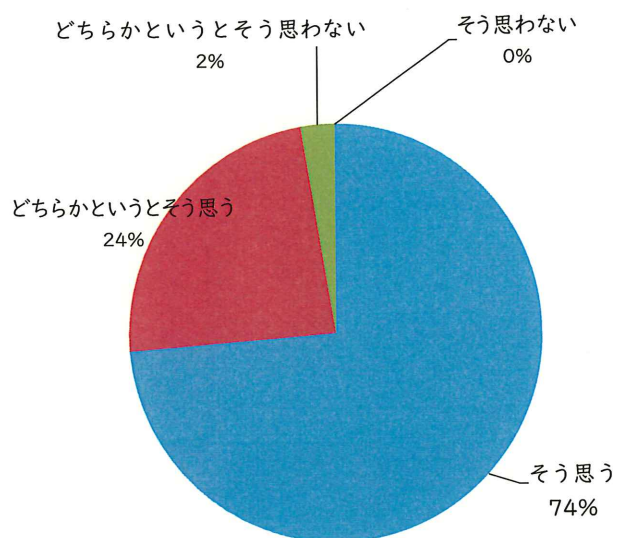
回答	回答数	%
そう思う	164	86.32%
どちらかというと思う	24	12.63%
どちらかというと思わない	2	1.05%
そう思わない	0	0.00%
合 計	190	100.00%

② お子さんは以前より水泳が好きになったと思いますか？



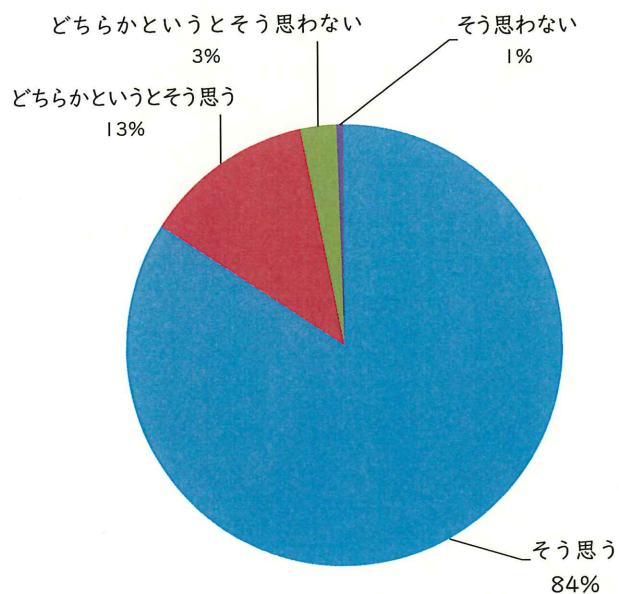
回答	回答数	%
そう思う	99	52.11%
どちらかというと思う	75	39.47%
どちらかというと思わない	13	6.84%
そう思わない	3	1.58%
合 計	190	100.00%

③ お子さんは楽しく授業ができたと思いますか？



回答	回答数	%
そう思う	140	73.68%
どちらかというと思う	45	23.68%
どちらかというと思わない	5	2.63%
そう思わない	0	0.00%
合 計	190	100.00%

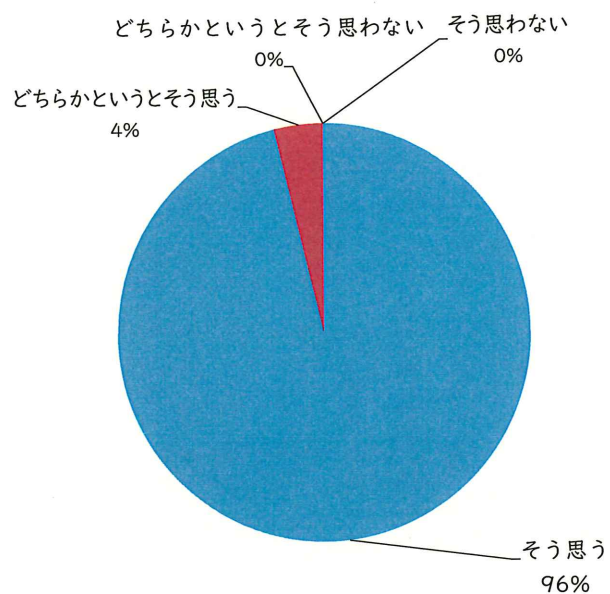
④ 今後もスイミングスクールでの授業を続けて欲しいと思いますか？



回答	回答数	%
そう思う	160	84.21%
どちらかというと思う	24	12.63%
どちらかというと思わない	5	2.63%
そう思わない	1	0.53%
合 計	190	100.00%

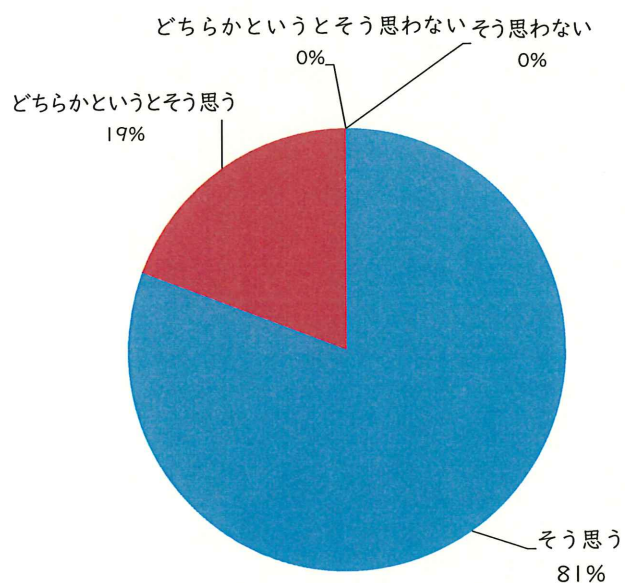
6 教職員アンケート調査の結果

① 児童に良い環境を提供できましたか？



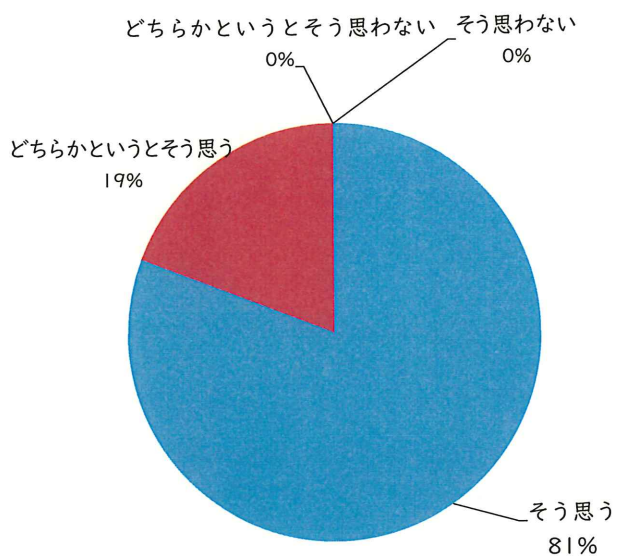
回答	回答数	%
そう思う	25	96.15%
どちらかというと思う	1	3.85%
どちらかというと思わない	0	0.00%
そう思わない	0	0.00%
合 計	26	100.00%

② 計画的に授業が実施できましたか？



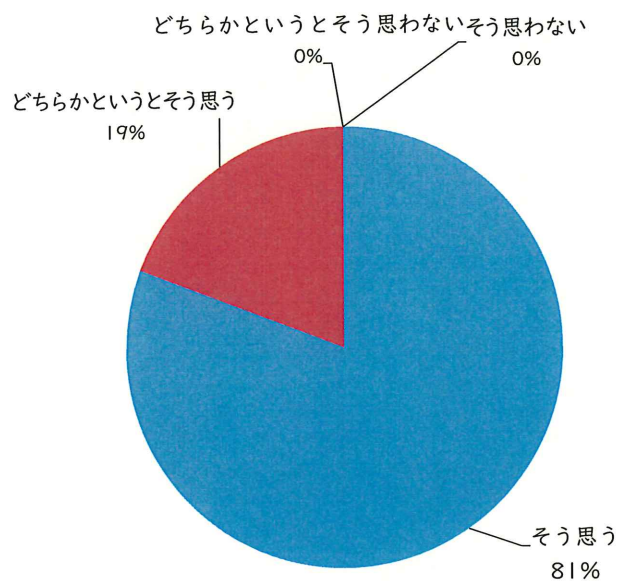
回答	回答数	%
そう思う	21	80.77%
どちらかというと思う	5	19.23%
どちらかというと思わない	0	0.00%
そう思わない	0	0.00%
合 計	26	100.00%

③ バス移動は問題なく実施できましたか？



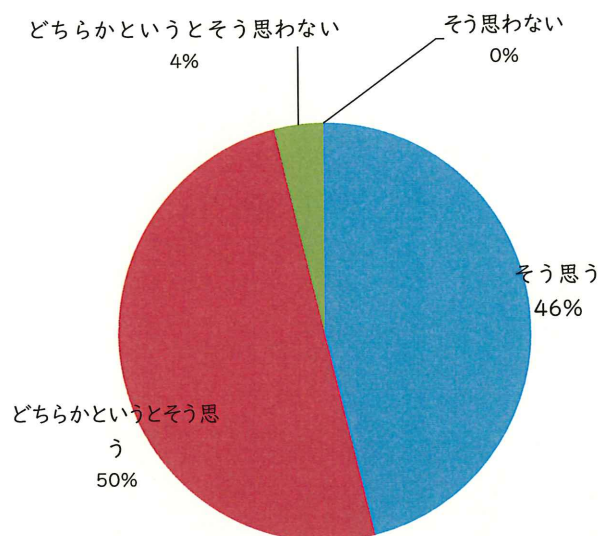
回答	回答数	%
そう思う	21	80.77%
どちらかというと思う	5	19.23%
どちらかというと思わない	0	0.00%
そう思わない	0	0.00%
合 計	26	100.00%

④ 児童の泳力向上につながりましたか？



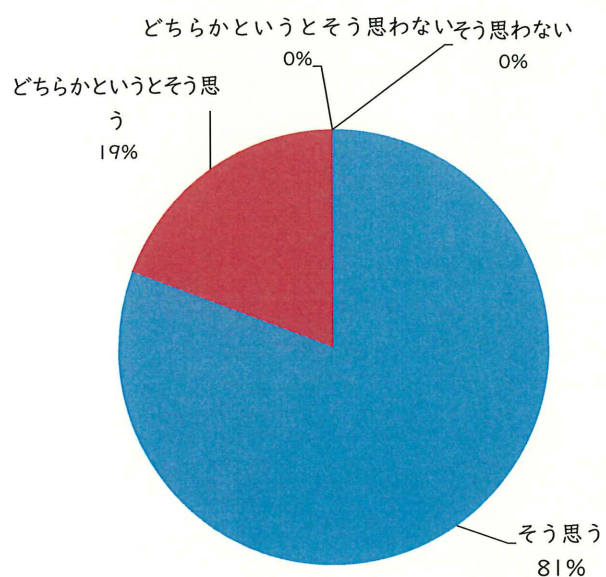
回答	回答数	%
そう思う	21	80.77%
どちらかというと思う	5	19.23%
どちらかというと思わない	0	0.00%
そう思わない	0	0.00%
合 計	26	100.00%

⑤ 児童の出席率は向上しましたか？



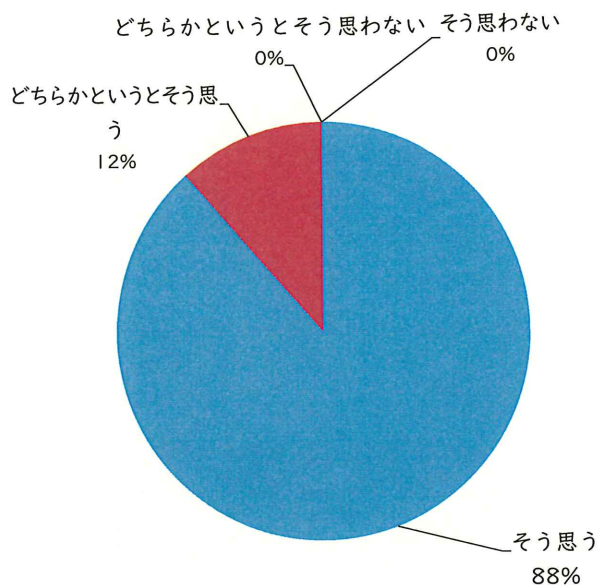
回答	回答数	%
そう思う	12	46.15%
どちらかというと思う	13	50.00%
どちらかというと思わない	1	3.85%
そう思わない	0	0.00%
合 計	26	100.00%

⑥ 教員の負担軽減になりましたか？



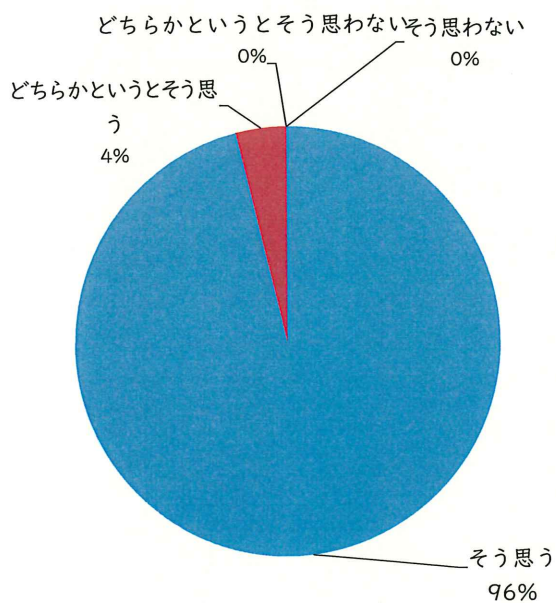
回答	回答数	%
そう思う	21	80.77%
どちらかというと思う	5	19.23%
どちらかというと思わない	0	0.00%
そう思わない	0	0.00%
合 計	26	100.00%

⑦ インストラクターの指導方法は参考になりましたか？



回答	回答数	%
そう思う	23	88.46%
どちらかというと思う	3	11.54%
どちらかというと思わない	0	0.00%
そう思わない	0	0.00%
合 計	26	100.00%

⑧ 学校プールでの水泳授業と比較して、総合的に良かったですか？
(スイミングスクールでの授業を続けたいですか？)



回答	回答数	%
そう思う	25	96.15%
どちらかというと思う	1	3.85%
どちらかというと思わない	0	0.00%
そう思わない	0	0.00%
合 計	26	100.00%

7. アンケートの自由意見

(1) 児童

- ・たのしかったです！ とても楽しかったです。
- ・おもしろかったです。楽しかった。 たのしかった。
- ・もっと水泳をやりたい。 また泳ぎたい。 もっと泳ぎたい。
またやりたいです。
- ・とてつもなく楽しかったので、もうちょっと時間を増やしてほしいです。
- ・これからも水泳を頑張っていきたいと思った。
- ・いっぱい水泳の事業があって楽しかったです。
- ・スイミングスクールに通う前はクロールの息継ぎができなかったけど、スイミングに通ったら息継ぎができるようになって嬉しかったです
- ・もっと泳げるようになりたい。
- ・今までいろいろな泳ぎをおしえてくれありがとうございました。
- ・もっと練習して泳ぎが上手になりたいそうです。
- ・もっと練習してうまくなりたいです
- ・泳ぐのが、少しとくいになった。
- ・また、イトマンスイミングスクールで勉強したいです。
- ・教え方が丁寧で分かりやすかった。楽しかった。
- ・もっと泳ぎの泳ぎ方のコツを教えてほしいと思いました。
- ・どうやったらそんな泳ぐのが速くなるのか。
- ・バスは楽しい。
- ・自由時間が欲しかった。 じゆうじかんがほしい。 遊び時間がほしいです。
- ・自由時間がほしい。 遊び時間がほしいです。 自由時間がほしいです！
- ・時間をふやしてほしい。 もっと時間取ってほしい。
- ・週に2回授業をしたい。
- ・前は泳ぎきらなかったけど、泳ぎきるようになった。あとする時間が短い。
- ・更衣室は一人で着替えたい。
- ・プールサイドをもうちょっときれいにしてほしい。
- ・学校のプールでやりたいです。
- ・なぜ、がっこうで、すいえいをしないんですか？
- ・寒い。ラッコができない。

(2) 保護者

- ・スイミングスクールで指導していただき、泳ぎが上手くなったので親としては有り難いです。しかし、子供達は、水泳の回数が減った。移動に時間がかかるから、プールで泳ぐ時間が短い。泳ぐ練習だけで自由時間がなくてつまらないと少々不満を言っていました。
- ・大人の目が増えてきめ細かく指導をしてもらえているようで安心しています。不衛生なプール掃除もなくなり子供にとって良いことばかりです。
- ・時代の流れもあり、教員の負担軽減、学校のプールで行うことによる、水難

事故防止の観点から、泳ぎのプロによる水泳の授業が一番であると思います。水の事故から自分自身を守る術を習得することや、体や心の成長のためにも水泳の授業は大切だと思いますので今後ともよろしくお願いします。

- ・年間を通してスイミングの授業をしてほしい。(スイミングスクールなら)
- ・スイミングスクールを利用でき、天気も関係なく授業が受けられて良かった。
- ・期間をもう少し長く受けられると、更にいいと思う。親世代の頃より水泳の授業が短い。
- ・水泳の授業楽しみに学校行ってました。
- ・学校のプールを使用するよりも、安全面や指導面でも満足できる。先生方の負担も減るのではないのでしょうか。ただ、イトマンに通っている児童をひいきするのはやめて欲しい。
- ・夏だけでなく季節問わず実施してもらえるといいと思います。
- ・学校で入っていた時より、スイミングの日を楽しみにしていました。せっかくならば、通年でスイミングの授業ができればいいなと思います。
- ・スイミングを習いたいと、短期コースで今お試し中です。
- ・天気に左右されないし、熱中症等の事を考えると屋内のほうがいいと思う。
- ・天気に左右されず授業が出来たのがよかったと思います。バスで行くのも楽しみのひとつになっていたようです。
- ・天候に左右されることなく練習できてよかったと思います。子どもたちも楽しんで練習に取り組んだことを話していました。
- ・前は学校のプールには虫がたくさん浮いてるから入りたくない、泳ぐのも嫌いと言っていたがスイミングスクールで授業するようになって楽しみながら泳げているようです。
- ・小学校の先生のプール清掃や水溜めなどの労働も削減されますし、なにより天候に左右されず専門の先生から指導して頂けますし、プールの水や更衣室等の衛生面でも委託水泳授業の方が子ども達も親もありがたいです。今後よろしくお願いします。
- ・子供が楽しいと言って、その日はいつも楽しみにしてました。
- ・泳げなかったのが泳げるようになって、自分でも実感してたようで、いつか泳ぐの見てって話してくれたので、その授業の時は見れたりできれば嬉しいです。
- ・雨風関係なく出来ることはいいと思います。日焼けを気にせず出来るし、猛暑でも出来ることはいいと思います。
- ・プールがあるときは毎回楽しみに学校に行っていました。ぜひ続けていただければ嬉しいです。
- ・もう少し日数が増えればよかったなと思いました。
- ・もう少し回数を増やしたほうがいいと思います。
- ・回数が少ないかなと思いました。
- ・回数がもう少し多いといいなと思う。
- ・夏休み明けも水泳の時間を増やしてほしいです。

- ・外部に委託した分、水泳の実施日数が減ったのが子ども達にとっては残念。屋内施設なのだから、実施期間を延長し、9月まで水泳の授業を延長してほしいと思う。
- ・専門の先生から細やかな指導が受けれたのはよかったし、子どもたちもバスに乗って行ったりすることとても楽しみにはしてたけれど、多額のお金と時間をかけてまで水泳の授業する必要があるかなとは正直なところ思います。
- ・久留米市民プールなどの何回か無料利用券を配るとかでもいいのでは？
- ・着替え時間が5分で短く狭いので嫌だと聞いている。
- ・スイミングスクールの先生の口が悪いのが気になります。学校教師の方々がきちんとした言葉で指導頂いているので、そこは気をつけて欲しいです。
- ・泳げなくて立ってしまうと頭を沈められて怖いと言っていました。
- ・終わった後の着替えの時間をもう少し長く取ってもらいたいと言っています。
- ・夏休み前に水泳の授業があってほしいです。10月は寒い日もあるので風邪をひかないか心配です。
- ・授業に参加してないから、わからないが、今年度は6回だったと思うんですが、その時間で足りるのかな…と思います。授業時間が限られてると思いますが…夏の水難事故の為には時期がどうかな…とも思います。しかし、広川町だけでは無いので、仕方ないことなのかなとも思います。
- ・水泳の授業とは関係ないですが以前テレビでさいたま市で小学校の英語教育で「グローバルスタディ」が取り入れられていて、殆どの子供さんが、塾無しで英検3級ほどの英語力で会話ができる。しかも、他の授業を削り英語に振り分けたのではなく総合の授業などを英語にあてて？とその様な内容だったと思います。義務教育で何年英語を習っても話せない日本人。それではいけないと、この取り組みを始められたそうです。とてもネイティブに会話している子供達を見て頼もしく、とても羨ましく感じました。成長して行く子供達のグローバルな環境それからコミュニケーション能力向上に絶対にプラスになる取り組みだと思います。水泳と関係のない事を長々と失礼しました。どうぞよろしくお願いします。

(3) 教員

- ・グループに分かれて指導を受けることができたので、全体での一斉指導より、実技の時間が多く確保されていたと思います。一人ひとりに丁寧に声かけや指導をしていただき、泳力も伸びて「楽しい！」という声が子どもたちからたくさん聞こえてきました。
- ・子ども達がとてもいきいきと取り組んでいたのもので、ぜひ来年以降もお願いしたいです。
- ・児童への支援ありがとうございました。
- ・子ども達が時間いっぱい、水泳授業に励むことができた。一人ひとり声掛け

してもらえることで、以前より、泳力の向上が見られた。

- ・子ども達が時間いっぱい水泳学習に取り組むことができた。「もう、時間おわり・・・」と言う子が多かった。一人ひとり声掛けいただき、手厚く指導していただいて、子供たちの泳力も向上したと思う。
- ・水泳学習を終えての子供たちの満足感が明らかに違ってよかったです。特に泳力別に子供たちにあった指導をしていただけて、ただ楽しむだけでなく短い間の中で泳力が伸びたと思います。水泳を習っていない子も、体験のような時間を過ごせて運動の選択の幅も広がったと思います。ありがとうございました。またよろしくお願いします。
- ・学校では手が回らないところまで、イトマンさんに指導していただいて本当に感謝しています。ありがとうございました。

8 総 括

(1) 総括要旨

本年度、上広川小学校および下広川小学校の2校で実施した水泳授業の民間委託事業は、児童および保護者の双方から極めて高い評価を得ており、目的である「天候に左右されない計画的な水泳授業の実施」「児童の泳力向上と安全確保」「教員の業務負担軽減」を十分に達成したと判断される。特に「授業は楽しかった」と回答した児童は約99%(98.8%)に達し、「水遊びや水泳が好きになった」という児童も約95%を占めるなど、児童の意欲向上に大きく貢献している。次年度以降も本事業を継続実施することが、教育の質および学習環境の維持向上において非常に有益である。

(2) アンケート結果から見る主な成果

①指導効果と児童の意欲向上

○高い参加意欲と指導の質への評価

児童の約99%が授業を「楽しかった(そう思う・どちらかというと思う)」と回答。自由意見でも「息継ぎができるようになった」「もっと泳げるようになりたい」等の前向きな声が多数寄せられ、泳力別のグループ分けと専門インストラクターによるきめ細かな指導が確かな効果を上げている。

②施設環境・安全管理面でのメリット

○天候に左右されない安定した授業実施

屋内プールの利用により天候不順による中止がなくなり、計画通りの授業が可能となった。保護者からも「天候に左右されず、熱中症の心配もない」「プールの水や更衣室などの衛生面でもありがたい」と高く評価されている。

○教員の負担軽減と安全監視体制の強化

プール清掃や施設・水質管理業務がなくなり、教員はプールサイドからの安全管理や個別の見守りに注力できた。教員アンケートにおいて「児童に良い環境を提

供できた」との回答が100%に達しており、教員の労働負担軽減と安全性の向上が裏付けられた。

③保護者からの支持

○事業内容への圧倒的な高評価

保護者の約99%が「子どもにとって水泳を学ぶ良い授業だった」と回答。「大人の目が増えて安心」「プロによる指導が受けられる」など、民間委託への移行は家庭・地域からも極めて好意的に受け入れられている。

(3) 課題と次年度に向けた対応

アンケートの自由記述において、児童・保護者双方から「実施回数(6回)や時間が短い」「自由時間(遊び時間)がない」「移動時間がかかる」といった指摘がいくつか見られた。これらは本事業の構造的な課題であるが、以下の視点で対応および理解促進を図る。

○「回数・時間」に対する考え方

授業時間や回数については、移動等の制約があるものの、児童の約89%が「時間が十分あり、たくさん泳ぐことができた」と回答し、教員からも「児童が時間いっぱい水泳に励むことができた」と評価されている。短時間であっても、密度の高い効率的な技能習得が可能である点を、今後もより丁寧に周知していく。

○授業内容と実施時期の工夫

「自由時間がほしい」という児童の要望については、限られた時間内での安全管理や確実な泳力向上という観点から制約があるものの、委託先と連携して児童のモチベーションを保つ工夫を検討する。また、実施時期に関する意見(夏休み前や通年での実施希望等)については、施設側の受け入れ体制等を踏まえ、より良いスケジュールを協議していく。

○費用対効果

一部で実施日数減などに対する意見があったが、教員の多大な業務負担(清掃・管理等)の削減、天候によらない安定実施、安全性の向上、そして専門家による指導効果というメリットを総合的に勘案すれば、本事業の優位性は揺るがないものである。

(4) 結論

以上の通り、本事業は回数や移動時間といった物理的な課題を含みつつも、それを大きく上回る教育的成果と、児童・保護者からの圧倒的な支持を得ている。安心・安全かつ効果的な水泳指導を持続可能な形で提供するため、次年度においても民間委託による水泳授業を継続実施する方向で進めていきたい。

学習指導要領（水泳指導抜粋）平成 29 年告示

小学校 体育

第 1 目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

第 2 各学年の目標及び内容

〔第 1 学年及び第 2 学年〕

1 目標

- (1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。
- (2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。

2 内容

D 水遊び

水遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。
 - ア 水の中を移動する運動遊びでは、水につかって歩いたり走ったりすること。
 - イ もぐる・浮く運動遊びでは、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりすること。
- (2) 水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすること。

〔第 3 学年及び第 4 学年〕

1 目標

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考え方を他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考え方を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己

の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。

2 内容

D水泳運動

水泳運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。
 - ア 浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをすること。
 - イ もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろな潜り方や浮き方をすること。
- (2) 自己の能力に適した課題を見付け、水の中での動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考え方を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすること。

〔第5学年及び第6学年〕

1 目標

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考え方や取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気づき、自己の健康増進や回復に進んで取り組む態度を養う。

2 内容

D水泳運動

水泳運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。
 - ア クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。
 - イ 平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。
 - ウ 安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く泳ぐこと。
- (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすること。

3 内容の取扱い

内容の「D水泳運動」の(1)のア及びイについては、水中からのスタートを指導するものとする。また、学校の実態に応じて背泳ぎを加えて指導することができる。

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

- 2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。
「D水遊び」及び「D水泳運動」の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれらを取り扱わないことができるが、これらの心得については、必ず取り上げること。

小学校設置基準 抜粋（文部科学省）

第三章 施設及び設備

（一般的基準）

第七条 小学校の施設及び設備は、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切なものでなければならない。

（校舎及び運動場の面積等）

第八条 校舎及び運動場の面積は、法令に特別の定めがある場合を除き、別表に定める面積以上とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があり、かつ、教育上支障がない場合は、この限りでない。

2 校舎及び運動場は、同一の敷地内又は隣接する位置に設けるものとする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があり、かつ、教育上及び安全上支障がない場合は、その他の適当な位置にこれを設けることができる。

（校舎に備えるべき施設）

第九条 校舎には、少なくとも次に掲げる施設を備えるものとする。

- 一 教室（普通教室、特別教室等とする。）
- 二 図書室、保健室
- 三 職員室

2 校舎には、前項に掲げる施設のほか、必要に応じて、特別支援学級のための教室を備えるものとする。

（その他の施設）

第十条 小学校には、校舎及び運動場のほか、体育館を備えるものとする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があり、かつ、教育上支障がない場合は、この限りでない。

（校具及び教具）

第十一条 小学校には、学級数及び児童数に応じ、指導上、保健衛生上及び安全上必要な種類及び数の校具及び教具を備えなければならない。

2 前項の校具及び教具は、常に改善し、補充しなければならない。

（他の学校等の施設及び設備の使用）

第十二条 小学校は、特別の事情があり、かつ、教育上及び安全上支障がない場合は、他の学校等の施設及び設備を使用することができる。

【民間スイミングスクールを活用した水泳授業アンケート調査報告書（中学校）】

1 調査の目的

広川町教育委員会では、令和7年度において、民間スイミングスクールを活用した水泳授業を広川中学校で試行的に実施したので、その効果検証を行うため、アンケート調査を行うもの。

2 概要

○事業の目的

体育科における水泳運動の指導を民間スイミングスクールに業務委託することにより、指導業務及び移動手段、水泳施設を確保し、以下に記す効果を得ることで、効果的で円滑な水泳指導に資すること。

○期待される効果

- ・天候に左右されない計画的な水泳授業の実施
- ・専門性の高いインストラクターの指導による生徒の泳力の向上
- ・生徒の安全・衛生の確保
- ・プール施設の維持管理に係る教員の負担軽減
- ・建設費、改修工事費、維持管理費等と業務委託費を比較し、財政的負担の軽減

○実施校・期間・場所など

広川中学校 令和7年6月10日から令和7年11月25日まで
〒839-0862 福岡県久留米市野中町舟塚 380-1
イトマンスポーツスクール久留米東校

○水泳指導時数

各学年とも、180分（うち2時限）×2回の指導とし、年間6時間とする。（移動、衣服の着脱やシャワー、準備運動等の時間を含む）

○2単位時間1コマの考え方

（移動時間・着替え等準備）＋授業時間＋（着替え等片付・移動時間）

移動についてはイトマンスポーツスクールの送迎用中型バスを必要台数確保し、バスの運行については、受託者が安全管理及び点検をした上で、広川中学校の敷地内から水泳施設の敷地内までとする。

○生徒数・指導単位

1 回の指導は概ね 70～115 人程度とする。

各学年 5 クラスを 3 クラスと 2 クラスに分け、6 グループとする。

○指導内容

中学校学習指導要領に基づいた中学校の年間指導計画の学習内容に即したものとし、学校と町とで協議する。

○指導方法等

生徒を泳力別にグループ分けし、それぞれ泳力に応じた指導とする。

各グループにインストラクターを配置し、教員とともに水泳指導にあたる。インストラクターは、教員とのチームティーチングによりきめ細かくて効果的な指導ができる体制を組む。

3 アンケート調査の実施方法

(1) 実施期間：令和 7 年 12 月 25 日（木）まで

(2) ① 生徒アンケート調査

所定の授業回数を終了後、速やかに学級毎に ICT 端末（タブレット）を利用した Web アンケートを実施。

② 保護者アンケート調査

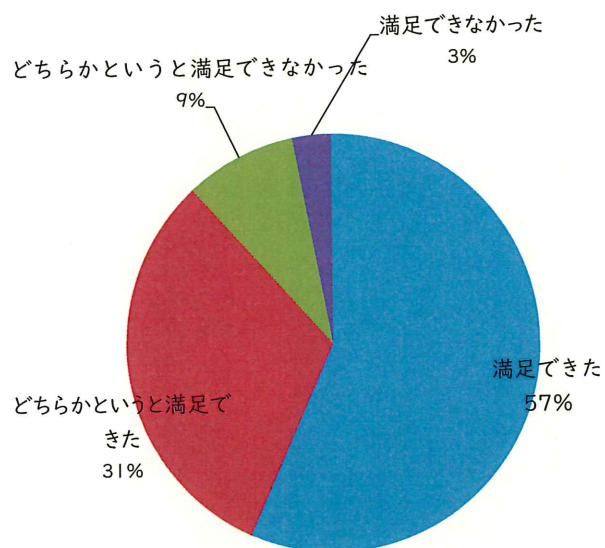
学校単位で運用しているアプリ「スクリレ」を利用した Web アンケート

③ 教員アンケート調査

ICT 端末を利用した Web アンケート

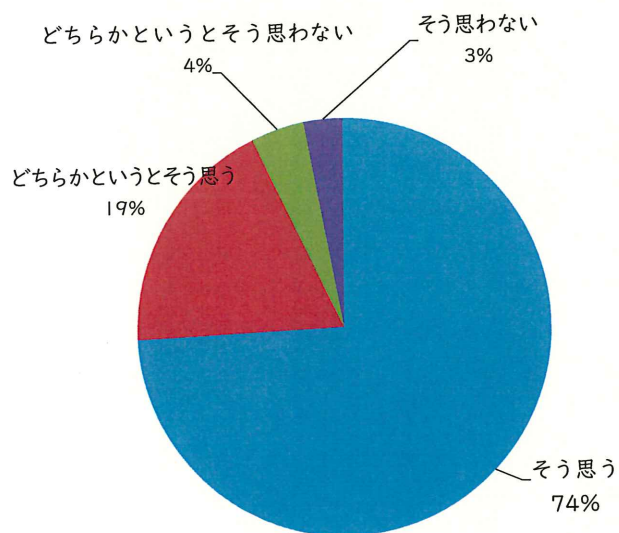
4 生徒アンケート調査の結果

① 今年度のプールの授業内容に満足できましたか。



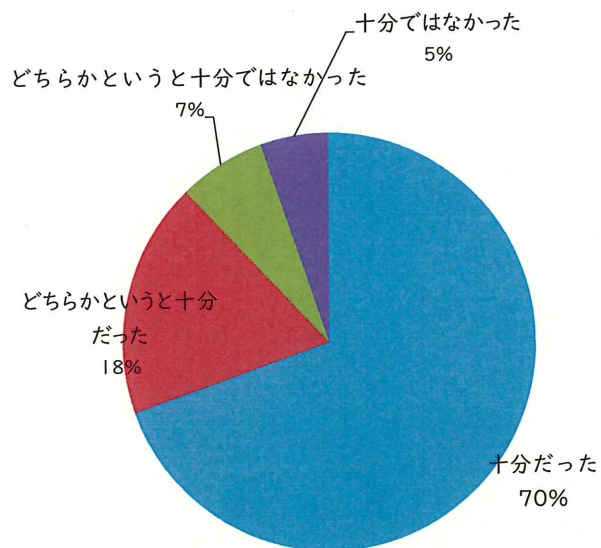
回答	回答数	%
満足できた	149	56.65%
どちらかという満足できた	83	31.56%
どちらかという満足できなかった	23	8.75%
満足できなかった	8	3.04%
合 計	263	100.00%

② 授業に積極的に取り組むことができましたか。



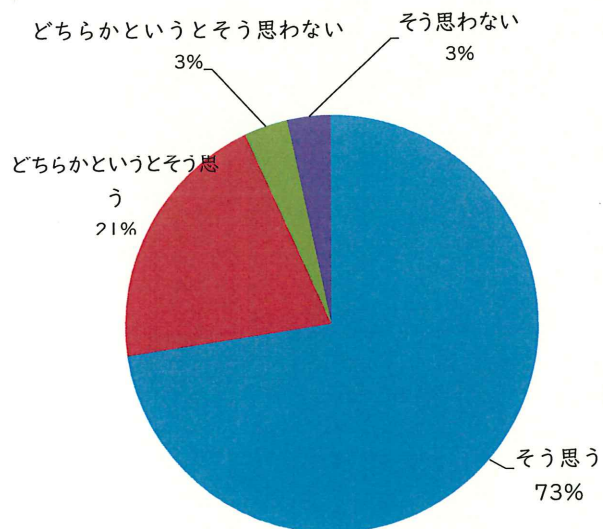
回答	回答数	%
そう思う	195	74.14%
どちらかというそう思う	49	18.63%
どちらかというそう思わない	11	4.18%
そう思わない	8	3.04%
合 計	263	100.00%

③ 授業における練習や泳ぐ時間は十分でしたか。



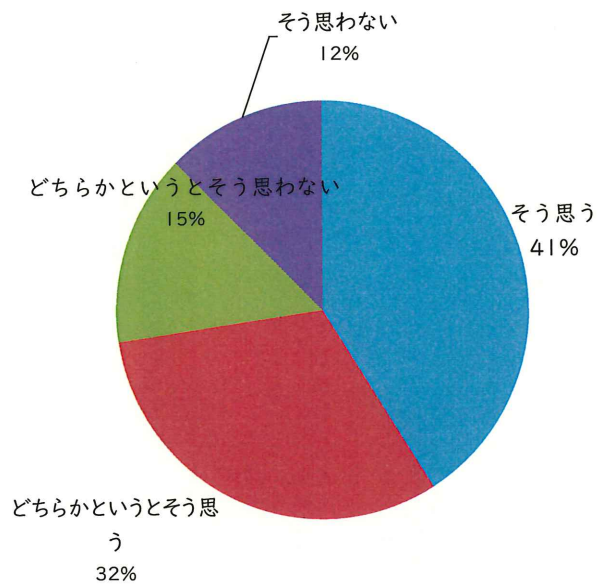
回答	回答数	%
十分だった	183	69.58%
どちらかというと十分だった	48	18.25%
どちらかというと十分ではなかった	18	6.84%
十分ではなかった	14	5.32%
合 計	263	100.00%

④ インストラクターの指導やアドバイスは、あなたの泳力（技術）の向上に役立ちましたか。



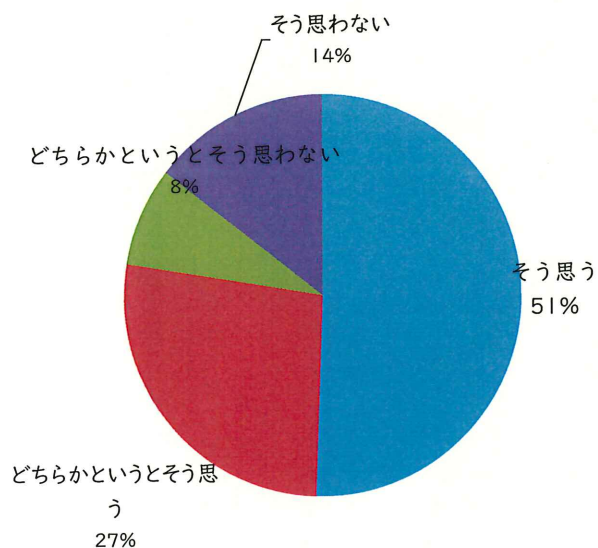
回答	回答数	%
そう思う	191	72.62%
どちらかというとそう思う	54	20.53%
どちらかというとそう思わない	9	3.42%
そう思わない	9	3.42%
合 計	263	100.00%

⑤ この授業を通して、水泳への興味・関心は高まりましたか。



回答	回答数	%
そう思う	108	41.06%
どちらかというと思う	83	31.56%
どちらかというと思わない	39	14.83%
そう思わない	33	12.55%
合 計	263	100.00%

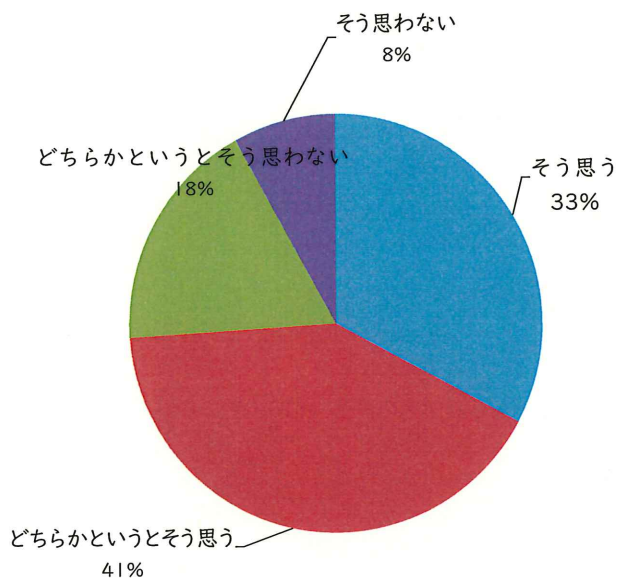
⑥ 今後も、このようなスイミングスクールにより指導形式でプールの授業を受けたいと思いますか。



回答	回答数	%
そう思う	133	50.57%
どちらかというと思う	71	27.00%
どちらかというと思わない	21	7.98%
そう思わない	38	14.45%
合 計	263	100.00%

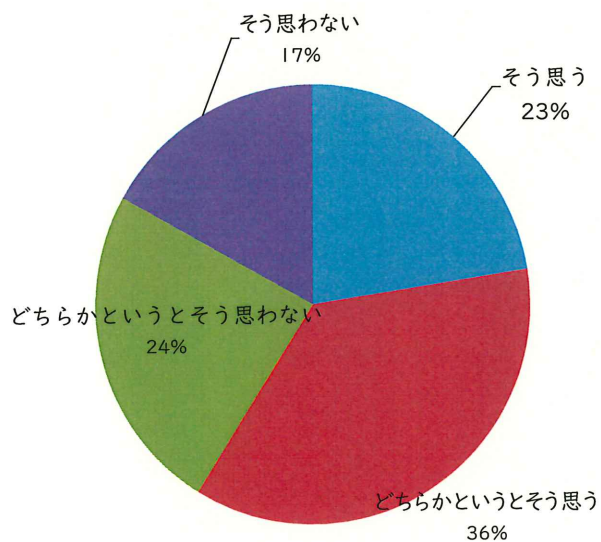
5 保護者アンケート調査の結果

- ① お子さんにとって、今回の水泳授業は、泳力の向上や体力づくりの面で、有意義だった（役立った）と思いますか。



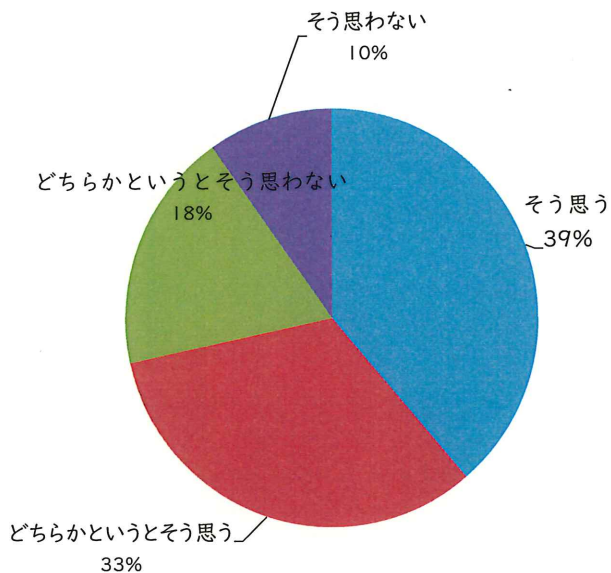
回答	回答数	%
そう思う	111	32.84%
どちらかというと思う	139	41.12%
どちらかというと思わない	61	18.05%
そう思わない	27	7.99%
合 計	338	100.00%

- ② お子さんは、この授業を通じて、水泳への関心や意欲が高まった（または、水泳がより好きになった）様子でしたか。



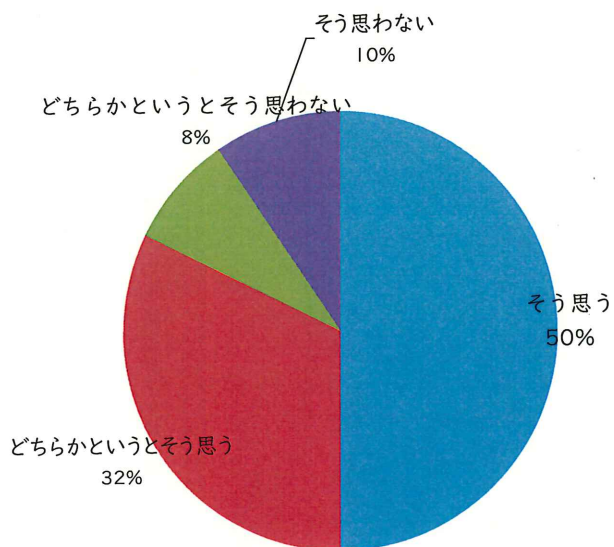
回答	回答数	%
そう思う	76	22.49%
どちらかというと思う	123	36.39%
どちらかというと思わない	82	24.26%
そう思わない	57	16.86%
合 計	338	100.00%

③ お子さんは、今回の授業に楽しみながら意欲的に取り組んでいたと思いますか。



回答	回答数	%
そう思う	131	38.76%
どちらかというと思う	111	32.84%
どちらかというと思わない	63	18.64%
そう思わない	33	9.76%
合 計	338	100.00%

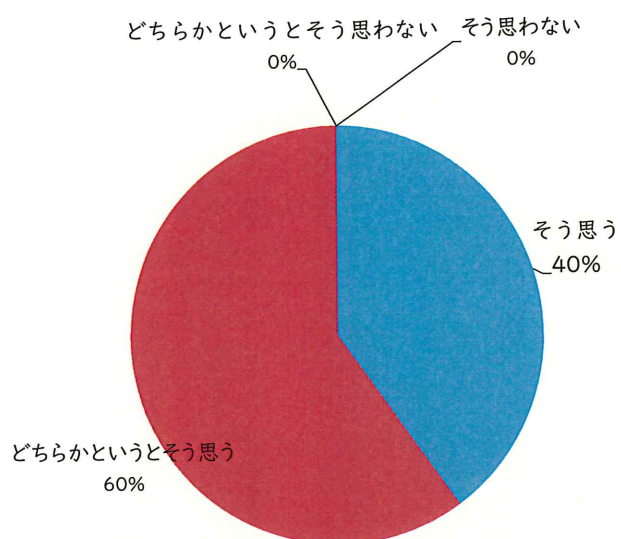
④ 今後もスイミングスクールでの授業を続けて欲しいと思いますか？



回答	回答数	%
そう思う	169	50.00%
どちらかというと思う	109	32.25%
どちらかというと思わない	28	8.28%
そう思わない	32	9.47%
合 計	338	100.00%

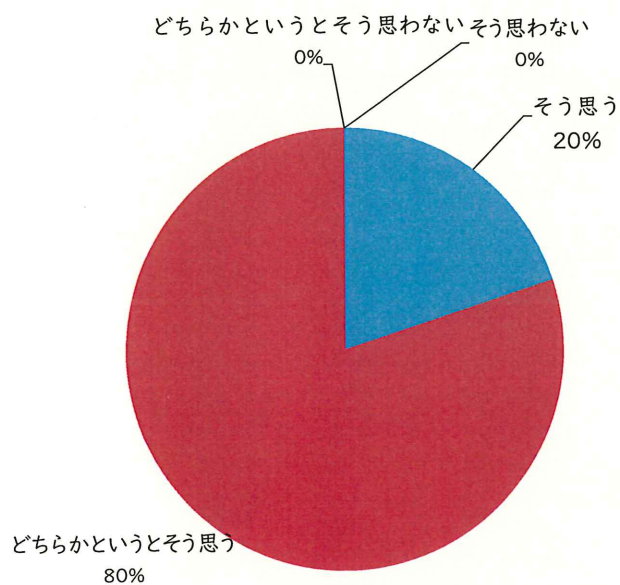
6 教職員アンケート調査の結果

① 生徒に良い環境を提供できましたか？



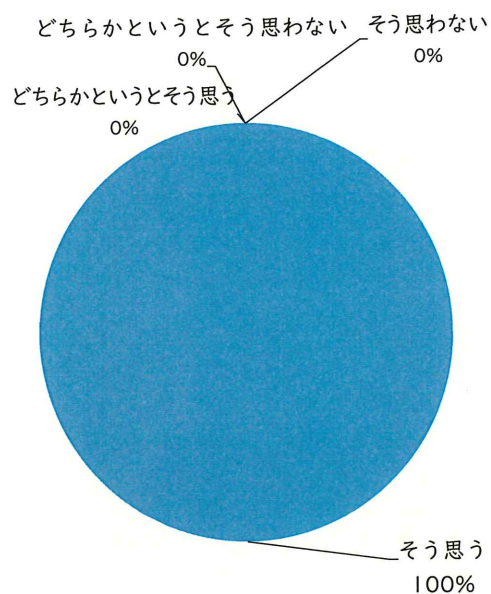
回答	回答数	%
そう思う	2	40.00%
どちらかというと思う	3	60.00%
どちらかというと思わない	0	0.00%
そう思わない	0	0.00%
合 計	5	100.00%

② 計画的に授業が実施できましたか？



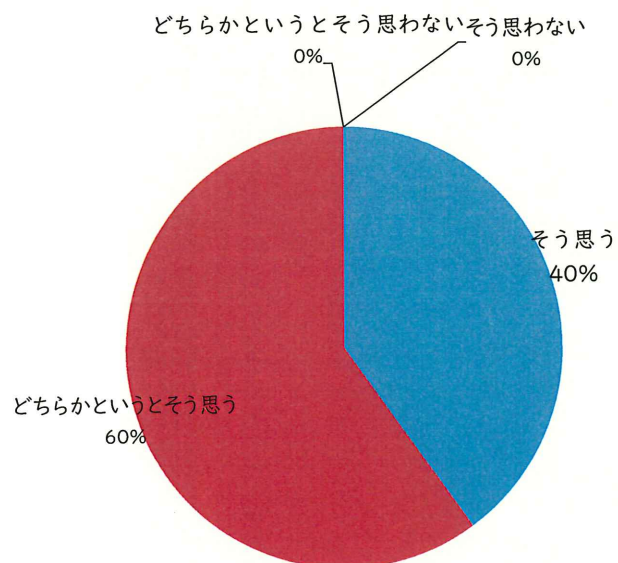
回答	回答数	%
そう思う	1	20.00%
どちらかというと思う	4	80.00%
どちらかというと思わない	0	0.00%
そう思わない	0	0.00%
合 計	5	100.00%

③ バス移動は問題なく実施できましたか？



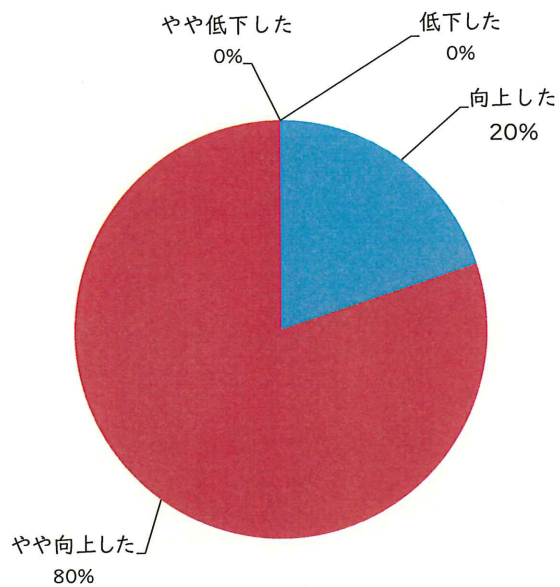
回答	回答数	%
そう思う	5	100.00%
どちらかというと思う	0	0.00%
どちらかというと思わない	0	0.00%
そう思わない	0	0.00%
合 計	5	100.00%

④ 生徒の泳力向上につながりましたか？



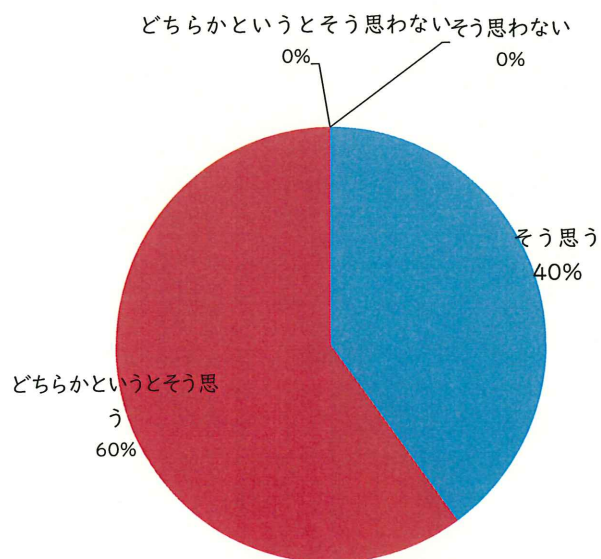
回答	回答数	%
そう思う	2	40.00%
どちらかというと思う	3	60.00%
どちらかというと思わない	0	0.00%
そう思わない	0	0.00%
合 計	5	100.00%

⑤ 生徒の出席率は向上しましたか？



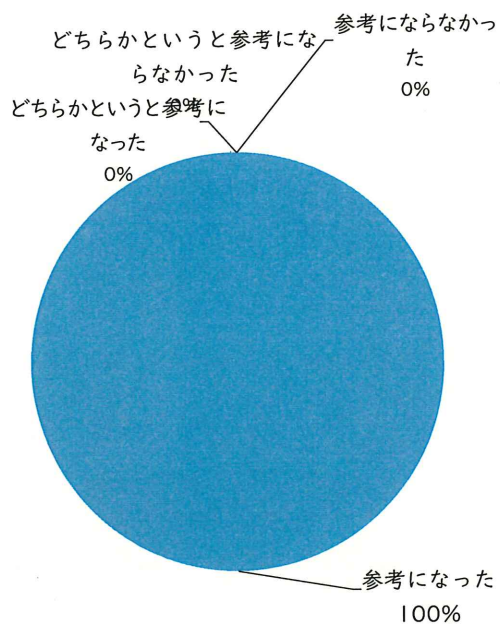
回答	回答数	%
向上した	1	20.00%
やや向上した	4	80.00%
やや低下した	0	0.00%
低下した	0	0.00%
合 計	5	100.00%

⑥ 教員の負担軽減になりましたか？



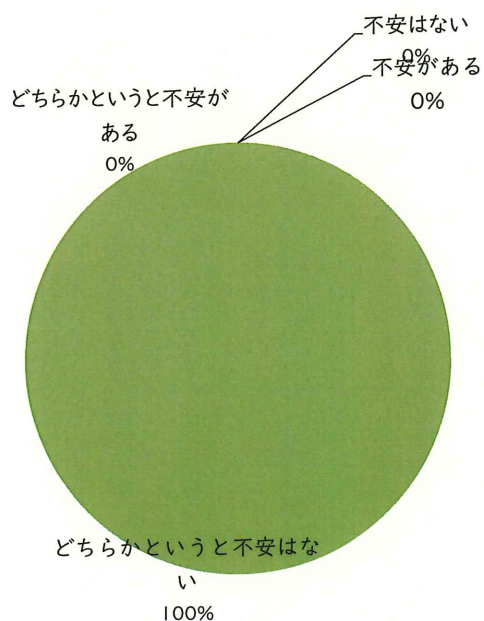
回答	回答数	%
そう思う	2	40.00%
どちらかというと思う	3	60.00%
どちらかというと思わない	0	0.00%
そう思わない	0	0.00%
合 計	5	100.00%

⑦ インストラクターの指導方法は参考になりましたか。（体育科教員のみ）



回答	回答数	%
参考になった	4	100.00%
どちらかという参考になった	0	0.00%
どちらかという参考にならなかった	0	0.00%
参考にならなかった	0	0.00%
合 計	4	100.00%

⑦ インストラクターの指導方法は参考になりましたか。（体育科教員のみ）



回答	回答数	%
不安がある	0	0.00%
どちらかという不安がある	0	0.00%
どちらかという不安はない	4	100.00%
不安はない	0	0.00%
合 計	4	100.00%

7. アンケートの自由意見

(1) 生徒

①指導・学習効果に関する意見

【指導の質について】

- ・インストラクターさんの指導が素晴らしくて泳げるようになった。
- ・インストラクターさんが一人ひとりにアドバイスをしてくれるので、わかりやすかった。
- ・プロの指導、コースに分けることでそれぞれにあったことができる。
- ・アドバイスをもらいながら泳げたのが良かった点。
- ・あまりできない泳ぎ方をプールの先生が優しく教えてくれたので良かったです。
- ・先生が優しくかった。ていねいに教えてくれた。
- ・ひとつひとつ丁寧に教えてくれたこと。
- ・本格的に習う事ができ、できなかった泳ぎをできるようになった。
- ・クロールができなかったけどプールの授業をしてから息継ぎとクロールができるようになった。

【グループ分け・個別指導について】

- ・インストラクターの先生が1対1で見てくれたから自分も聞きやすかったし、新しいことも学べたから、とっても良かった。
- ・苦手な人とできる人で別れて自分にあった進め方をできて楽しかった。一人ひとりに教えてくれたので溺れる心配がなかった。
- ・上手く泳げる人と泳げない人でコースが違ったので自分のペースで泳ぐことができて良かった。
- ・良かった点は、泳ぐのが苦手な人とやや苦手な人と普通に泳げる人で分けていたのが良かったです。
- ・グループにわけて効率よく練習できて良かった。
- ・授業でテストをしてグループを分けるのはいいなと思った。

②施設・環境に関する意見

【施設環境の良さ】

- ・清潔な環境で安心して泳ぐことができた。
- ・プールが綺麗だった。綺麗なプールになって嬉しい。
- ・2年生の時とは違い室内だったので日焼けしないし、温水プールで暖かかったので良かったです。
- ・外と違って室内は温かいのでとても良かった。設備がきちんと整っていて良かった。
- ・真冬でも室内なので安心して授業ができた。

【施設・移動への改善要望】

- ・着替えをする部屋が狭くてぎゅうぎゅうなところを改善してほしい。
- ・バスが狭い、プールが浅い。
- ・移動時間が長いので学校でしたい。
- ・水がぬるかったです。

③回数・時間・内容に関する意見

【回数をもっと増やしてほしい】

- ・水泳授業の回数をふやしてほしい。
- ・2回しかなかったのもっと授業を増やしてほしいです！
- ・2回しなくて、1回は体調不良で休んだので、あと一回くらいは増やしてほしいです。
- ・2回じゃ少ない。
- ・授業回数が減ったのもっとしたかったなと思いました。
- ・回数が少なかったため、なんとも言えなく、もっとするべきだと思った。
- ・体調が悪くて授業ができなかったので回数を増やしてほしいです。

【時間配分・自由時間について】

- ・自由時間が欲しかった。自由時間を入れてほしかった。
- ・ちゃんとした先生が教えてくれるので技術面は言うことないが、自由時間がないため楽しみがなくて少し残念だった。
- ・授業後の遊びの時間が少し欲しかった。
- ・良かった点は1回につき3時間あることです。改善してほしい点は2回しかないことです。
- ・泳ぐ時間が長かったので、めまいがした。
- ・教えてもらいながらできたのは良かったけど、時間が長かった。
- ・コースで分けるのは良いと思ったけど一番上のコースはずっと泳いでばっかりだし休憩の時間も5分も無かったのでそこを増やして欲しい。

④その他の感想・素直な意見

【ポジティブな意見】

- ・たのしかった。
- ・みんなとできて、楽しかったです。
- ・全部良かったです。
- ・他クラスとの交流が授業でできてよかったです。

【ネガティブ・戸惑いの意見】

- ・あんま面白くなかった。
- ・クラス分けされると恥ずかしくなる。

- ・ 25 mのプールでおよぎたかった。
- ・ 改善してほしいことは、泳ぐ時間が長過ぎるところです。

(2) 保護者

①授業回数と費用対効果に関する意見

【回数の少なさ・物足りなさ】

- ・ 2回しか授業がなかったのもう少し回数を増やして欲しい。
- ・ 2回では回数が少なすぎると思います。
- ・ 水泳の授業回数が少ないので、泳力は全く変わってない。
- ・ たかだか 2、3 回の授業で泳力の向上、体力づくりは無理があると思います。
- ・ 2 回の授業では少なすぎるように感じました。
- ・ 実際は数回しかなく「あれっ？」と感じでした。

【費用・準備の負担感】

- ・ 2 回ぐらいしかないのなら無くてもいい。その為に水着を準備するのは大変。昨年使用した水着が入らなくて買い替えても回数が少ないのならもったいない。
- ・ 授業回数も少ないしその為に水泳関係の準備は家庭環境によってはいらなかなと思った。
- ・ 家庭環境が苦しいので授業回数が少ない為揃えるのに金銭的余裕ないので授業はなくてもいいのでは。
- ・ 1 年でたった 2 回ならいっそなくしたらどうですか？

②指導内容・授業の目的への提言

【泳力向上よりも安全教育を】

- ・ 数少ない水泳の授業なら水の危険性とか溺れた時の対処法などに重点を置いて救命胴衣の付け方などをしていけばいいのではないかな。
- ・ 溺れない為の授業であれば着衣水泳の方が良いと思う。

【習い事との差別化】

- ・ 水泳を習いたい方は習い事としてやるでしょうし、学校にそこまでは求めている。
- ・ 小学校で泳ぎ方を教えてもらってないので、泳ぎ方を教えてもらいたい。

③施設・衛生・安全面への評価

【環境面でのメリット】

- ・ 衛生面・安全面においては、とても良い取り組みでした。是非今後も続けてほしいです。
- ・ 学校のプールは道路を渡る必要があったため、あまり良い環境ではなかった。その点ではよかった。

- ・天候に左右されることもなかった。環境面、先生達の負担等を考慮すると良かったのではないか。
- ・プールも、更衣室も老朽化しており、今後もスイミングスクールでの授業が好ましいと考えている。

【課題点】

- ・送迎（移動）の時間のために授業時間を使うのは勿体無い気がします。
- ・バス移動がめんどくさいからなくていいと子供は言っていました。久留米まで移動するのは時間がかかる。

④実施時期と季節感に関する意見

【時期への不満】

- ・時期が悪すぎだと思います。もっと暑い時期にしてほしかったです。
- ・プールは楽しみにしていたが、この時期に行くのはとても寒くて嫌だったと話していました。
- ・11月だったので、もう少し寒くなる前にあったらいいなと思いました。
- ・屋内とは言え施設に慣れない子供達にはどうなのかなと感じました。

⑤思春期の配慮・欠席時の対応について

【男女別・容姿への配慮】

- ・屋内プールでの取り組みは賛成ですが、男子と時間をずらすなどしていただくと、本人も意欲的に参加しそうです。
- ・体型に対するからかいの発言があり、女子は嫌だという内容を聞きました。男女分けてもいいのかも。
- ・女子は容姿の事を人から嫌な事を言われたりするので希望者のみにしてほしい。年頃なので水着自体に抵抗があると思う。

【欠席・見学時のフォロー】

- ・泳ぐのは2回だけなので、タイミングが悪いと泳ぐことができない。回数を検討してほしい。
- ・生理期間中など、やむを得ず参加出来なかった場合に補講日などを設けてもらえるとありがたいです。
- ・当日参加出来なかった後のことも早めにきちんと知らせてほしいです。

(3) 教員

- ・悪くなかったが、やはり夏の暑い日の外での授業が教員と生徒共に負担が大きすぎた。
- ・個人的には学校で指導する方が良かった。
- ・移動時間があるため回数を増やすと時数が厳しくなりますが、学校プールでの授業より良いと思います。

- ・今までの授業前の準備やプールの管理と、先方との連絡調整等や評価の労力を考えるとあまり双方で変わらないかなという印象でした。
- ・実施回数、時期、補習の問題等がある
- ・専門的な指導ができて良い。
- ・女子はどうしても参加できない日が出てくるため２回の実施は少なすぎるし、成果がどれくらいあったかは疑問

８ 総 括

（１）総括要旨

本年度実施した広川中学校における水泳授業の民間委託事業は、生徒および保護者の双方から高い評価は得ており、目的である「天候に左右されない計画的な水泳授業の実施」「泳力の向上」「生徒の安全・衛生の確保」「教員の業務負担軽減」を十分に達成したと判断される。特に専門インストラクターによる指導効果に対する生徒の満足度は９４％に達しており、次年度以降も本事業を継続実施することが、教育の質および環境面において不可欠である。

（２）アンケート結果から見る主な成果

①指導効果と生徒の意欲向上

○指導の質への高評価

生徒の９４％が「指導が技術向上に役立った」と回答。「息継ぎができるようになった」「個別にアドバイスをもらえた」等の意見が多数あり、習熟度別のきめ細やかな指導が実現した。

○高い参加意欲

「積極的に取り組めた」とする生徒は９３％に上り、苦手意識を持つ生徒からも「自分のペースで泳げた」「溺れる心配がなく楽しかった」といった肯定的な意見が多く寄せられた。

②施設環境・安全管理面でのメリット

○天候に左右されない安定実施

屋内温水プール等の環境により、天候不順による中止がなく、計画通りに授業を実施できた。生徒からも「清潔で安心」「寒くない」と環境面への評価が高い。

○教員の負担軽減と安全監視への集中

プール清掃や水質管理業務が不要となり、教員は生徒の安全管理や個別の見守りに注力できたことが、教員アンケートからも裏付けられている。

③保護者からの支持

○事業継続への期待

保護者の82%が「今後もスイミングスクールでの授業を続けてほしい」と回答しており、民間委託への移行は地域・家庭からも概ね好意的に受け入れられている。

(3) 課題と次年度に向けた対応

アンケートの自由記述において、生徒・保護者双方から「実施回数(2回)の少なさ」および「移動時間・実施時期」に関する指摘が見られた。これらは本事業の構造的な課題であるが、以下の視点で対応および理解促進を図る。

○「回数」に対する考え方

授業回数(2回)については、移動時間や予算の制約があるものの、アンケート結果(満足度88%、指導効果実感94%)が示す通り、「回数は少ないが、密度と質の高い授業」が展開できていると考える。短時間で効率的な技能習得が可能である点を、今後もより丁寧に周知していく。

○実施時期と配慮

11月の実施に対し「寒い」との意見があったため、可能な限り暖かい時期への調整を委託先と協議する。また、思春期の生徒(特に女子生徒)への配慮(更衣室環境、見学時の対応等)については、学校と施設側で連携を強化し、心理的負担の軽減に努める。

○費用対効果

一部保護者より水着購入等の負担感に対する意見があったが、老朽化した学校プールの維持管理費と比較した場合のコストメリット、および専門指導による教育効果の高さを総合的に勘案すれば、本事業の優位性は揺るがないものである。

(4) 結論

以上の通り、本事業は課題点を含みつつも、それを大きく上回る教育的成果と生徒・保護者の支持を得ている。安心・安全かつ効果的な水泳指導を持続可能な形で提供するため、次年度においても民間委託による水泳授業を継続実施する方向で進めていきたい。

学習指導要領（水泳指導抜粋）平成 29 年告示

中学校学習指導要領：第 2 章 第 7 節 保健体育

1. 水泳の指導内容（実技項目）

【第 1 学年及び第 2 学年】

D 水 泳

水泳について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付けること。

- ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。
- イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。
- ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。
- エ バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。

- (2) 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。

- (3) 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ること。

【第 3 学年】

D 水 泳

水泳について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。

- ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。
- イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。
- ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。
- エ バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペー

スで泳ぐこと。

オ 複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすること。

(2) 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。

(3) 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること

(内容の取扱い)

(2) エ

「D 水泳」の(1)の運動については、第1学年及び第2学年においては、アからエまでの中からア又はイのいずれかを含む二を選択して履修できるようにすること。第3学年においては、アからオまでの中から選択して履修できるようにすること。また、泳法との関連において水中からのスタート及びターンを取り上げること。なお、水泳の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを扱わないことができるが、水泳の事故防止に関する心得については、必ず取り上げること。また、保健分野の応急手当との関連を図ること。

【保健分野】

2 内容(3)

傷害の防止について理解を深めることができるようにする。

ア 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生すること。

イ 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。

ウ 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。

エ 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、応急手当には、心肺蘇生等があること。

(内容の取扱い)

(6) 内容の(3)のエについては、包帯法、止血法など傷害時の応急手当も取り扱い、実習を行うものとする。また、効果的な指導を行うため、水泳など体育分野の内容との関連を図るものとする。

中学校設置基準 抜粋（文部科学省）

第三章 施設及び設備

（一般的基準）

第七条 中学校の施設及び設備は、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切なものでなければならない。

（校舎及び運動場の面積等）

第八条 校舎及び運動場の面積は、法令に特別の定めがある場合を除き、別表に定める面積以上とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があり、かつ、教育上支障がない場合は、この限りでない。

2 校舎及び運動場は、同一の敷地内又は隣接する位置に設けるものとする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があり、かつ、教育上及び安全上支障がない場合は、その他の適当な位置にこれを設けることができる。

（校舎に備えるべき施設）

第九条 校舎には、少なくとも次に掲げる施設を備えるものとする。

一 教室（普通教室、特別教室等とする。）

二 図書室、保健室

三 職員室

2 校舎には、前項に掲げる施設のほか、必要に応じて、特別支援学級のための教室を備えるものとする。

（その他の施設）

第十条 中学校には、校舎及び運動場のほか、体育館を備えるものとする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があり、かつ、教育上支障がない場合は、この限りでない。

（校具及び教具）

第十一条 中学校には、学級数及び生徒数に応じ、指導上、保健衛生上及び安全上必要な種類及び数の校具及び教具を備えなければならない。

2 前項の校具及び教具は、常に改善し、補充しなければならない。

（他の学校等の施設及び設備の使用）

第十二条 中学校は、特別の事情があり、かつ、教育上及び安全上支障がない場合は、他の学校等の施設及び設備を使用することができる。

【民間委託における泳力の状況】

令和7年度中の民間スイミングスクールを活用した水泳授業における、泳力の状況について、下記のとおりまとめるもの。

1 25メートルを泳ぐことができる児童生徒の状況

25メートルを泳ぐことができる児童生徒の状況については下記のとおりである。

【小学校】

上広川小学校

学年	児童数	初回	最終
1	25	1	1
2	26	4	5
3	20	1	1
4	33	4	4
5	27	8	8
6	37	8	16
	168	26	35
		15.5%	20.8%

下広川小学校

学年	児童数	初回	最終
1	31	0	0
2	43	1	4
3	41	5	5
4	38	8	11
5	43	9	11
6	39	7	13
	235	30	44
		12.8%	18.7%

小学校 合計

学年	児童数	初回	最終
1	56	1	1
2	69	5	9
3	61	6	6
4	71	12	15
5	70	17	19
6	76	15	29
	403	56	79
		13.9%	19.6%

小学校全体の25メートル完泳率は、初回判定の13.9%から最終判定の19.6%へ5.7ポイント上昇した。学校別では、上広川小学校が15.5%から20.8%（+5.3ポイント）と数値を伸ばした。さらに、初回判定が12.8%であった下広川小学校は、最終判定で18.7%（+5.9ポイント）の伸び幅を記録している。

【中学校】

中学 1 年

組	生徒数	初回	終了時
1	31	8	18
2	34	10	19
3	32	9	17
4	34	7	13
5	33	10	15
	164	44	82
		26.8%	50.0%

中学 2 年

組	生徒数	初回	終了時
1	32	8	16
2	29	8	13
3	28	11	15
4	26	6	9
5	29	10	15
	144	43	68
		29.9%	47.2%

中学 3 年

組	生徒数	初回	終了時
1	32	10	20
2	33	8	12
3	34	8	20
4	29	13	16
5	33	10	16
	161	49	84
		30.4%	52.2%

中学校合計

年	生徒数	初回	終了時
1	164	44	82
2	144	43	68
3	161	49	84
	469	136	234
		29.0%	49.9%

広川中学校の 25 メートル完泳状況については、全学年で顕著な向上が確認できる。中学校全体では、初回判定の 29.0% から最終判定の 49.9% へと 20.9 ポイント上昇し、約半数の生徒が完泳を達成した。学年別の推移は、中学 1 年が 26.8% から 50.0% (+23.2 ポイント)、中学 2 年が 29.9% から 47.2% (+17.3 ポイント)、中学 3 年が 30.4% から 52.2% (+21.8 ポイント) である。すべての学年で完泳率が大幅に向上しており、特に中学 1 年生の伸び幅が最大となったほか、最終判定では 1 年生と 3 年生で半数以上の生徒が完泳に至るという成果が示されている。

- 2 イトマンスポーツクラブにおける、泳力判定について
泳力の判定については、下記のとおりとなる。

1 班

1	個人メドレー	100 m
2	バタフライ	25 m
3	背泳ぎ	25 m
4	平泳ぎ	25 m
5	サバイバルスイム（立ち泳ぎ）	

2 班

1	クロール	25 m
2	クロールスイム（左右呼吸）	15 m
3	背面キック	12.5 m
4	クロールスイム（片手）	8 m
5	クロールスイム（無呼吸）	6 m

3 班

1	クロールキック（板付き顔上げ10 m）	
2	背面キック	5 m
3	キック（板付き呼吸）	6 m
4	板キック（顔付け）	3 m
5	水中ジャンプ（連続）	

4 班

1	蹴伸び5 m以上	
2	浮き身5秒以上	
3	頭までもぐる動作	
4	顔付け（3回）	
5	水慣れ（水遊び）	

3 泳力の向上について

【小学校】

- ・小学校の泳力判定については、初回判定は「班」までの測定とし、最終判定は「班＋レベル」となる。

例) 初回判定 3 班→最終判定 2 班ー1「クロール 25 メートル」

- ・小学校では「班」の向上が見られた児童数について測定する。

上広川小学校

学年	児童数	班の向上
1	25	6
2	26	5
3	20	2
4	33	10
5	27	7
6	37	16
	168	46
		27.4%

下広川小学校

学年	児童数	班の向上
1	31	21
2	43	13
3	41	11
4	38	8
5	43	5
6	39	6
	235	64
		27.2%

小学校 合計

学年	児童数	班の向上
1	56	27
2	69	18
3	61	13
4	71	18
5	70	12
6	76	22
	403	110
		27.3%

小学校の泳力判定レベル班の推移において、上広川小学校で 27.4%、下広川小学校で 27.2%と、両校ともに 4 人に 1 人以上の児童が初回から泳力レベルの班を向上させており、小学校全体としても 27.3%の児童が上の段階へステップアップを果たした。特筆すべきは、学校間で向上率の差がわずか 0.2 ポイントとほぼ同一である点である。これは、各レベルに応じた均質かつ適切な指導が両校の児童に満遍なく提供されているものと考ええる。

【中学校】

- ・中学校の泳力判定については、初回判定から「班+レベル」で測定している。
- ・小学校と同じく「班」の向上の生徒数に加え、「班内でのレベル」の向上についても、測定を行う。

中学１年

組	生徒数	班の向上	班内レベル向上
1	31	15	23
2	34	12	25
3	32	9	27
4	34	10	25
5	33	5	27
	164	51	127
		31.1%	77.4%

中学２年

組	生徒数	班の向上	班内レベル向上
1	32	13	25
2	29	2	20
3	28	8	24
4	26	2	19
5	29	5	27
	144	30	115
		20.8%	79.9%

中学３年

組	生徒数	班の向上	班内レベル向上
1	32	7	31
2	33	2	23
3	34	2	24
4	29	1	26
5	33	3	28
	161	15	132
		9.3%	82.0%

中学校合計

年	生徒数	班の向上	班内レベル向上
1	164	51	127
2	144	30	115
3	161	15	132
	469	96	374
		20.5%	79.7%

広川中学校の泳力判定レベル班の推移において、中学１年で31.1%、中学２年で20.8%、中学３年で9.3%と、下学年ほどレベルアップされている状況である。班内におけるレベルアップの状況については、学校全体を通して約80%となっており、多くの生徒たちが授業のなかで、レベルが向上していることが分かる。

【広川町小中学校プールに関するコスト比較資料】

1. 広川町小中学校プールの現状

プールの耐用年数は概ね30～40年とされており、上・下広川小学校及び広川中学校の3校については耐用年数を超過しており、いずれのプールも劣化が著しい状況である。（塗装の剥離、機械設備の老朽化、配管漏水など）上・下広川小学校については令和6年度（試行）から、広川中学校については令和7年度（試行）から外部委託を取入れている

中広川小学校については、耐用年数が超過していないものの、築20年を経過しており、プールサイドシートの剥がれやプール下駐車場の水漏れ等、計画的な補修が必要である。

	建設年	築年数	現状
上広川小学校	S54	47	R6年度より外部委託
中広川小学校	H14	24	補修要
下広川小学校	S49	52	R6年度より外部委託
広川中学校	S36	64	R7年度より外部委託

2. トータルコスト（50年間）の比較検討パターン

- A. 町内4小中学校全てを外部委託する
- B. 中学校プールを新設し上広川小学校と、中広小プールを補修し下広川小学校と併用利用する
- C. 中広川小学校プールを補修し、中学校、上・下広川小学校は外部委託する
- D. 町民プールを新設し全小中学校プールを統合する

《各パターンのイメージ》

		50年間	
		～30年	30～50年
A.全学校外部委託	全小中学校	外部委託	
B.中学プール新設(上小併用利用)+中小プール継続(下小併用利用)	広川中学校	中学校プール使用	
	上広川小学校	中学校プール使用（バス移動）	
	下広川小学校	中小プール使用（バス移動）	外部委託
	中広川小学校	中小プール使用	
C.中小プール継続 +上・下小、中学外部委託	広川中学校	外部委託	
	上広川小学校		
	下広川小学校		
	中広川小学校	中小プール使用	外部委託
D.町民プール新設	全小中学校	町民プール使用（バス移動）	

A. 町内4小中学校外部委託に係る費用

①外部委託に係る年間委託費（R8年度見積）

（単位：千円/年）

	授業数	委託費	備考
広川中学校	4回	7,782	
上広川小学校	6回	2,739	
中広川小学校	6回	12,116	※単価計算により算出
下広川小学校	6回	4,250	
計		26,887	

B. 中学校プール新設+中広川小学校継続使用(上・下広川小学校併用利用)に係る費用

【1. 中学校プール建設費】

※中学校のプールについては、既存の学校敷地に1階建てで建設すると仮定する

(1) 建設費計 250,000 千円 ※筑後市M小学校R6実績(建設費2.21億+設計・監理費0.3億)

(2) 交付金（学校体育諸施設整備事業）（単位：千円）

	算定水面積 (m ²)	単価 (千円/m ²)	基準額 (A*B)	交付金 (C*1/3)
学校屋外プール 交付金	313 (A)	251 (B)	78,313 (C)	26,104 (D)

(3) 交付税措置（単位：千円）

	地方債算定基準額 (C-D)	学校施設等整備事業債 (E*充当率15%)	交付税措置 (F*交付税措置率50%)
地方交付税	52,208 (E)	7,831 (F)	3,916 (G)

※充当率90（75+15）ではあるが、元利償還金に対する交付税措置の対象となるのは、15%のみ

(4) 中学校プール建設費単費（歳入・歳出）（単位：千円）

中学校プール 建設費	歳入			歳出 (単費) (H-I)
	交付金 (D)	交付税 (G)	歳入計	
250,000 (H)	26,104	3,916	30,020 (I)	219,980

【2.小中学校プール施設管理費】

(1) 年間経費 600 千円 ※実績より算出 (内訳)

水道料	300
委託費	100
消耗品	200

(2) 改修費(予防改修) ※愛知県B市プール検討資料参照

※『予防改修』＝計画的に点検や改修を行うことで長寿命化を図る

①算出条件

工事種別	建設工事費 の比率	改修工事費 (建設工事費に対する割合)	
		小規模改修	大規模改修
建築	79%	15% /10年	30% /30年
電気	2%	30% /15年	—
機械	19%	60% /15年	—

②改修費の算出 (建設工事費 221,000 千円) ※筑後市M小学校R6実績

工事種別	10年	15年	20年	30年	40年	45年	計
建築	26,189		26,189	52,377	26,189		210,503
電気		1,326		1,326		1,326	
機械		25,194		25,194		25,194	
中広川小学校30年間改修費計							157,794

(単位：千円)

中学校50年間
改修費計

【3.中学校プール新設+中広川小学校継続使用に係る建設・施設管理費】

(単位：千円)

	建設費 (町負担分)	年間経費	改修費計 中学：50年間 中小：30年間	トータルコスト 中学：50年間 中小：30年間	1年平均 中学：～50年 中小：～30年
中学校プール新設	219,980	0	210,503	430,483	8,610
中広小プール継続	—	0	157,794	157,794	5,260

計 13,869

【4.上・下広川小学校併用利用に係る年間外部委託費】

(単位：千円/年)

		～30年				30～50年			
		外部委託		バス		外部委託		バス	
中学校プール新設	中学校	—	0	—	1,080	—	16,366	—	540
	上広川小学校	—		540		—		540	
中広小プール継続	中広川小学校	—		—		12,116		—	
	下広川小学校	—		540		4,250		—	

※外部委託については、A、D項の外部委託算出費用を抜粋する

C.中広川小学校継続使用(中学校、上・下広川小学校外部委託)に係る費用

【1.中広川小学校継続使用に係る施設管理費】

(単位：千円)

	建設費	年間経費	改修費計	トータルコスト	1年平均
中広小プール継続	—	0	157,794	157,794	5,260

※中広川小学校継続使用に係る費用については、B.項算出費用を抜粋する

【2.中学校、上・下広川小学校年間外部委託費】

(単位：千円/年)

		～30年		30～50年	
		外部委託		外部委託	
中広小プール継続	中学校	7,782	14,771	7,782	26,887
	上広川小学校	2,739		2,739	
	中広川小学校	—		12,116	
	下広川小学校	4,250		4,250	

※外部委託については、A項の外部委託算出費用を抜粋する

D.町民プール新設(4小中学統合)に係る費用

【1.町民プール建設費算出検討用前提条件】

(場 所) プール集約化を考慮し「中広校区」に仮定

(敷地面積) プール棟、駐車場(50台分)合わせて3,000m²の土地が必要

※プール施設の建設場所は町有地を利用し、駐車場1,500m²は新たに購入すると仮定

(延床面積) 1,100m²(プール関連1,000m²、25m×6コース、談話室・トレーニング室100m²)

(構 造) 鉄骨造、平屋

(排 水) 下水繋ぎ込みとする(但し、下水道のインフラ整備費用は含まない)

※下水が整備されていない場合、別途浄化槽の設置が必要となる(プール排水は雨水)

※プール水の雨水排水について、環境課確認済(Eスポーツクリニック同対応)、南筑後保健福祉環境事務所地域環境課(八女分庁舎)確認済(市町村の判断による)

【2.建設費検討】

(1) 温水プール建設単価実績

施設名	建設年	床面積	建設費	単価	その他
		(m ²)	(千円)	(千円/m ²)	
大阪府Aプール	未施行	1,735	1,126,571	649	R6.1検討資料より抜粋
愛知県Bプール	未施行	1,700	1,033,600	608	R5.3検討資料より抜粋
北海道Cプール	令和4年	2,009	1,070,644	533	予算額
栃木県Dプール	令和4年	1,584	777,972	491	契約金額
茨城県Eプール	令和元年	1,278	721,479	564	入札予定価格
北海道Fプール	平成27年	3,171	1,994,729	629	入札予定価格
兵庫県Gプール	平成28年	1,110	458,241	413	契約金額

※土地に関わる費用、設計・施工監理費は含まず

（２）建設単価検討

建築価格の高騰により、建設費は年々高額となっている。

近年の実績・検討資料を参考に検討用予算単価として、下記単価を採用する。

建設費	650	千円/m2
設計・監理費	50	千円/m2

（３）温水プール建設費

①建設費

（単位：千円）

温水プール建設費						※	計
床面積	建設工事費		設計・監理費		建設費 計	その他 積上	
(m2)	単価	建設費	単価	設計費			
1,100	650	715,000	50	55,000	770,000	66,505	836,505

②その他工事積上げ

（単位：千円）

項目	仕様・内訳	金額
駐車場土地購入費	中広校区A地点1,500m2 @6,336	9,505
駐車場整備費	1,500m2（地盤改良+砕石）@6,000円/m2	9,000
施設棟周囲外構	概算見積	10,000
備品購入	概算見積(コースロープ・巻取器、水深調整用可動床、棚・ロッカー外)	32,000
トレーニング 機器購入		3,000
下水繋込み		3,000
計		66,505

※土地単価：「広川町土木事業に関する規定」より、評価額単価×45≧3,000、移転補償等含まず

③学校施設環境改善交付金（スポーツ施設（社会体育施設）整備事業）（単位：千円）

	算定水面積 (m2)	単価 (千円/m2)	基準額 (A*B)	交付金 (C*1/3)
プール部	312.5 (A)	1,108.2 (B)	346,313	
付属室	100.0 (A)	171.8 (B)	17,180	
計			363,493 (C)	121,164 (D)

④交付税措置

(単位：千円)

	地方債算定基準額 (C-D)	学校施設等整備事業債 (E*充当率75%)	交付税措置（統廃合） (F*交付税措置率0%)
地方交付税	242,328 (E)	181,746 (F)	0 (G)

※交付税措置：町営プールは「義務教育諸学校の水泳プール新改築事業」は対象外となる（学校敷地内外問わず）

※公共施設等適正管理推進事業債（公共施設の複合化、学校の複合化は公用のため対象外）
90%×0.5（交付金の方がメリット有り、財政確認）

⑤温水プール建設費単費（歳入・歳出）

(単位：千円)

建設費	歳入			歳出 (単費) (H-I)
	交付金 (D)	交付税 (G)	歳入計	
836,505 (H)	121,164	0	121,164 (I)	715,341

【3. 温水プール施設管理費】

(1) 年間経費（福岡県F町温水プールR7年度予算より）

(単位：千円/年)

歳入	使用料外	3,400	(内訳)	
歳出	運営管理費	48,502	人件費	29,474
			燃料・光熱費	15,677
			委託料（水泳指導分除く）	2,355
			その他	996
収支		45,102		

(2) 改修費（予防改修） ※愛知県B市プール検討資料参照

※『予防改修』＝計画的に点検や改修を行うことで長寿命化を図る

①算出条件

工事種別	建設工事費 の比率	改修工事費 (建設工事費に対する割合)	
		小規模改修	大規模改修
建築	65%	15% /10年	30% /30年
電気	10%	30% /15年	—
機械	25%	60% /15年	—

②改修費の算出

(建設工事費

715,000

千円)

※設計費除く

(単位：千円)

工事種別	10年	15年	20年	30年	40年	45年	計
建築	69,713		69,713	139,425	69,713		734,663
電気		21,450		21,450		21,450	
機械		107,250		107,250		107,250	

【4.温水プールに係る建設・施設管理費】

(単位：千円)

	建設費 (町負担分)	年間経費	改修費計	トータルコスト 50年間	1年平均
温水プール新設	715,341	45,102	734,663	3,705,104	74,102

【5.町内4小中学校統合利用に係る年間外部委託費】

(1) 各学校の水泳授業回数

	授業単位	人数	授業回数	計
上広川小学校	1・2年生	44	6	18
	3・4年生	48	6	
	5・6年生	60	6	
中広川小学校	1年1～3組	100	6	36
	2年1～3組	92	6	
	3年1～4組	113	6	
	4年1～4組	120	6	
	5年1～4組	125	6	
	6年1～4組	125	6	
下広川小学校	1・2年生	69	6	18
	3・4年生	84	6	
	5・6学年	83	6	
中学校	3年1～3組	102	4	24
	3年4・5組	70	4	
	2年1～3組	108	4	
	2年4・5組	72	4	
	1年1～3組	96	4	
	1年4～6組	96	4	

※人数・授業回数については、R8年度外部委託見積依頼時のデータを使用（中広川小学校除く）

中広川小学校については、生涯学習課で算出

(2) バス委託費の算出

学校	各学校 授業回数計	1日に実施可能 な授業数	バス委託 必要日数	バス委託単価	バス年間 委託料
上広川小学校	18回	2回	9日	60千円/日	540千円/年
中広川小学校	36回	2回	18日	60千円/日	1,080千円/年
下広川小学校	18回	2回	9日	60千円/日	540千円/年
中学校	24回	2回	12日	60千円/日	720千円/年
				計	2,880千円/年

※バスは1日当り2～6往復とし、現行事業の大型バスの借上げ料見積もりを参考とした

3.各パターンのコスト比較

(単位：千円)

	施設建設・管理 年平均コスト	年間外部委託		既存プール 解体費	年間コスト 平均計	50年間 トータルコスト
		委託費	バス			
A.全学校外部委託		26,887		80,000	28,487	1,424,364
B.中学プール 新設	～30年	13,869	1,080	80,000	21,176	1,058,795
	30～50年	8,610	540	20,000		
B.※併用無	～30年	13,869	6,989	80,000	25,601	1,280,049
	30～50年	8,610	19,105	20,000		
C.中小プール 継続	～30年	5,260	14,771	80,000	24,373	1,218,666
	30～50年		26,887			
D.町民プール新設		74,102	2,880	80,000	78,582	3,929,104

※既存プール解体費 20,000 千円/施設

【コスト比較の結果】

A～Dの4パターンのコストを比較すると、「B」の中学校を新築し上広川小学校が併用し、中広小学校の既存のプールを使用しながら、下広小学校が併用するパターンが最も安価と試算した。但し新たに土地取得が必要となった場合や建設条件によってはこの限りではない。

続いて、「C」の中広小学校のプールを耐用年数（50年）まで使用し、その後外部委託するパターンとなり、現行の運用方法（中小は自校、他は委託）を当面維持する形となる。

なお、最もコストが高くなったのは、「D」の町民プール新設となり、「B」と比較すると約3.5倍の開きがある。

これらの比較検討は、予防改修の視点や現行の補助制度等により試算したものであり、未確定な要素が多く含まれていることを前提とする。

【総括】 広川町小中学校における今後の水泳授業のあり方について

本町における水泳授業は、施設の老朽化や天候等に左右される学習環境、教職員の指導・管理負担といった多くの課題を抱えていました。これらを解決すべく、小中学校において民間スイミングスクールを活用した水泳授業を実施し、その成果や施設の現状、コスト面など多角的な視点から検討を行いました。本調査結果に基づく最終的な方向性について、以下の通りまとめます。

Ⅰ 民間スイミングスクールを活用した水泳授業の成果

○児童生徒の泳力向上と学習意欲の向上

小学生の約98%が「楽しかった」、中学生の約87%が「満足できた」と回答しました。また、専門インストラクターによるレベル別指導により、児童生徒が泳力レベルのステップアップを果たし、25メートル完泳者の割合も増加するなど、確かな学習効果が実証されました。

○保護者からの高い評価

屋内の温水プールという清潔で安全な環境のもと、天候に左右されず専門家の指導を受けられる点について、小中ともに多くの保護者から「有意義な授業だった」と高い満足度を得ています。

○教職員の負担軽減と安全確保

教職員のほぼ全員が「児童生徒に良い環境を提供できた」と回答しました。自校式プールで不可避だった清掃や水質管理等の準備作業の負担が大きく軽減され、複数体制での指導により水難事故防止の観点からも高い安全性が確保されました。

Ⅱ 施設の現状と財政負担（コスト）の検討

プールの一般的な耐用年数は30～40年とされています。現在の各校の施設状況は、広川中学校が築64年、下広川小学校が築51年、上広川小学校が築46年と、耐用年数を大幅に超過しており、塗装剥離や漏水など老朽化が著しくなっています。安全な授業のためにこれらを改修・新設するには、莫大な財政的負担が生じます。

今後の施設整備および運用に係るトータルコストの試算においては、「中学校プール新設＋中広川小学校プール継続（上広川小・下広川小で併用利用）」のプランが数値上は最も安価であるという結果が示されました。

しかし、このプランを実際の教育現場の運用に照らし合わせると、中学生用のプールを小学生（低学年含む）が併用することになるため、水深調整が必須となります。調整台の多額な購入費用に加え、設置・撤去等の管理作業が発生し、安全面の確保にも大きな懸念が残ります。

また、自校にプールを持たない学校の児童生徒が、他校のプールへ移動するための時

間と労力（バスの手配や移動中の安全管理等）が新たに発生します。さらに、複数校が一つのプールを共有するため、天候不良による延期対応も含め、学校間で緻密かつ複雑なスケジュール調整を行う必要があり、柔軟なカリキュラム編成の大きな妨げとなります。

以上のとおり、運用面において教職員に多大な負担を強いるだけでなく、児童生徒の安全確保や学習環境の質の低下を招く恐れがあります。

3 結論（今後の水泳授業の適正なあり方）

以上の教育的効果（児童生徒の泳力向上、高い満足度）、教職員の負担軽減・安全確保、ならびに施設整備にかかる莫大な財政コストの比較検討結果を踏まえ、本町の小中学校における今後の水泳授業については、以下の体制へ移行することが最も適当であると結論付けます。

○上広川小学校、下広川小学校、広川中学校について

安全かつ質の高い専門的指導が継続できる「民間スイミングスクールへの委託」を継続する。

○中広川小学校について

施設が耐用年数内であり補修による運用継続が可能であることから、財政面を総合的に勘案し、「自校式プール」での運用を維持する。

この「民間委託」と「自校式」の運用により、児童生徒の学びの質を最大限に保障しつつ、町の財政負担を最適化することが最善の策であると考えます。

定例教育委員会における「水泳授業民間委託」に関する協議の経過

教育委員会日程	協議内容
令和 6 年 7 月 18 日 (令和 6 年度第 4 回 定例会)	【小学校プールの現状管理と今後の見通しについて】 ・質疑応答 Q: 現在のプールの管理や維持は今後どうされる状況か。 A: 民間委託が試行段階のためプールの取り扱いは未定だが、下 広川小については今後のグラウンド整備までに解体方針を決定 したい。
令和 6 年 10 月 31 日 (令和 6 年度第 6 回 定例会)	【小学校の水泳授業民間委託本格導入】 アンケート調査等を踏まえ、来年度からの水泳授業民間委託 の本格導入について協議され、予算要求を進めることが了承さ れた。 ・質疑応答 Q: 中広川小の水泳学習はどのように実施したか。 A: 施設が新しいため自校プールを使用し、外部指導員の協力や 暑さ対策を行って実施している。 Q: コスト面は学校実施と委託でどう変わるか。 A: 50 年間の試算で、委託により上広川小で年約 360 万円、下 広川小で年約 250 万円の経費節減が見込め、教員の負担軽減も 含め委託が妥当と考えている。 Q: 中広川小は一部学年だけでも委託できないか。 A: インストラクター導入で教員の負担は十分に軽減されてお り、施設が使える現状では委託せず、将来の改築時に再検討す る。
令和 6 年 11 月 21 日 (令和 6 年度第 7 回 定例会)	【広川中学校における民間委託（試行）の承認】・広川中学校の プールは建設から 60 年が経過し老朽化していることや、敷地外 にあり目隠しができないなどの立地・安全上の課題があることから、 民間委託試行実施が提案され、全会一致で承認された。 ・質疑応答 Q: 施設への移動を含めた授業時間との兼ね合いはどうか。 A: 集合・移動を含め 2 コマ（120 分）を確保しており、学校へ の影響はない。 Q: 中学生は人数が多いが、民間の受け入れ体制は問題ないか。 A: 八女市の施設は受け入れに余裕がなく通年実施を求められ ており、別案として久留米東校の利用も検討している。 Q: 夏に限らず、年間を通して授業を行うのか。 A: 温水プールのため冬も授業が可能であり、通年のカリキュラ ム構成となる。 Q: 委託した場合、現状の各校のプールはどうなるのか。 A: 上広川小は移転時、下広川小はグラウンド改修時に解体予定 であり、中学校は本格実施決定時に計画を定める。

令和 8 年 1 月 26 日 (令和 7 年度第 9 回 定例会)	【広川中学校における民間委託（本格実施）の承認】 広川中学校で試行実施した民間委託のアンケート結果が報告され、生徒・保護者・教職員の双方から高い評価を得たことや教員の業務負担軽減につながったことから、次年度以降の民間委託の本格実施（継続）が承認された。 ・質疑応答 Q: 「どちらかというと満足できなかった」生徒が 1 割強いる理由は何か。 A: 自由時間の減少やレベル分けへの不満等が考えられるが、見学者が減少し 9 割以上の生徒が積極的に参加した改善効果は非常に大きい。成績評価は座学等を組み合わせるため問題なく、今後は中 1 の 25m 完泳率が約 3 分の 1 にとどまる実態を踏まえ、6 年間を通じた詳細な検証が必要である。
令和 8 年 5 月 28 日 (令和 8 年度第 2 回 定例会)	【水泳授業の民間委託状況と今後のプール整備方針の決定】 「水泳授業の民間委託状況と今後のプール整備に関する報告書」を用いて報告を行い、上広川小・下広川小・広川中は民間委託を継続し、耐用年数内の中広川小は自校式プールを維持する方針が承認された。 ・質疑応答 Q: 引き続き使用中広川小のプールの耐用年数はあとのくらいか。 A: 築 24 年で一般的な耐用年数はおよそ 50 年であり、最近塗装も行っており今後も十分に使用できる状況である。 Q: 使用しなくなるプールは放置するのか。防火水槽としての役割はどうなるのか。 A: 方針決定次第、解体を視野に入れている。消防署へ確認済で、代替確保できるため解体しても問題ないとの回答を得ている。 Q: プール解体後の跡地活用について検討していることはあるか。 A: 中学校は未定、上広川小は移転するため該当しない。下広川小は今後のグラウンド整備に合わせて駐車場用地などとしての活用を検討している。 Q: コスト比較に直近のガソリン代高騰等は反映されているか。委託料にバス代は含まれるか。 A: 比較は令和 7 年度の基準で直近の高騰分は加味していないが、民間委託の料金には委託先の送迎バス代がすでに含まれている。



水泳授業の民間委託状況と今後のプール整備に関する
報告書

令和8年7月
広川町教育委員会

〒834-0115

福岡県八女郡広川町大字新代 1804-1

広川町教育委員会事務局

子ども課 学校教育係

電話番号 0943-32-1194

FAX 0943-32-4287

Email : gakkoukyouiku@town.hirokawa.lg.jp